

令和2年度第1回龍ヶ崎市社会教育委員会議（書面開催）議事

1 議題

(1) 令和元年度事業報告について

- ① 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策の成果報告） 抜粋
市の最上位計画である第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランで重点的に取り組む事業としたものの活動実績及び成果, 今後の方向性などをまとめたものから抜粋したものです。
- ② 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書 抜粋
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき, 教育委員会が毎年, その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い, その結果に関する報告書を議会に提出するとともに, 公表しているものです。
令和元年度に教育委員会が実施した主要事業の実施状況, 成果・課題等をまとめたものです。

(2) 令和2年度事業計画について

- ① 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策） 抜粋
第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランで令和2年度に重点的に取り組む事業を抜粋したものです。

2 その他

(1) 電子図書館への電子書籍購入について

令和2年度
第1回龍ヶ崎市社会教育委員会議
(書面会議)

会議資料

目 次

【令和元年度事業報告】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策の成果報告）

（1）文化・生涯学習課 ----- P 1 ～ 1 5

- 1-1-1-5 学童保育ルームの充実
- 1-2-2-2 多様な学習機会の提供
- 2-4-3-1 教育の日推進事業の充実
- 2-5-1-2 各種セミナーの開催
- 2-5-1-3 相談体制の充実
- 2-5-2-2 子どもの読書活動の推進
- 2-5-3-1 学童保育ルームの充実【再掲】
- 2-5-3-2 多様な学習機会の提供【再掲】
- 2-5-4-1 子どもの交流・活動拠点の充実
- 2-5-4-2 子どもの地域活動への参加促進
- 2-6-1-1 第九コンサート
- 2-6-1-2 人権啓発活動の充実
- 2-6-2-1 市民遺産の認定
- 2-6-2-2 歴史的資源などの活用

* ブレークダウン事項

- 祭礼等の保存継承

（2）スポーツ都市推進課 ----- P 1 6 ～ 2 4

- 1-2-3-3 総合型地域スポーツクラブの支援
- 1-2-3-4 トップアスリートの育成
- 2-4-1-4 部活動の活性化
- 2-6-3-1 流通経済大学運動部との連携
- 4-12-1-3 ニュースポーツの推進
- 4-12-1-4 マラソン大会開催の推進
- 4-12-1-5 旧北文間小の跡地を活用したスポーツ拠点の整備

* ブレークダウン事項

- ジュニアアスリートの育成支援
- オリンピック出場（候補）選手に対する個別応援団の創設

2 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

（1）文化・生涯学習課 ----- P 2 5 ～ 5 5

- 1-(1)-12 郷土学習の推進

- 1-(1)-15 部活動の活性化
- 1-(3)-24 教育の日推進事業の充実
- 2-(1)-41 各種セミナーの開催
- 2-(1)-42 相談体制の充実
- 2-(1)-43 基本的な生活習慣の定着
- 2-(1)-44 教育の日推進事業の充実【再掲】
- 2-(3)-49 学童保育ルームの充実
- 2-(3)-50 アフタースクール・サタデースクールの充実
- 2-(3)-51 青少年センターの充実
- 2-(4)-52 子どもの交流・活動拠点の充実
- 2-(4)-53 子ども会活動の活性化
- 2-(4)-54 子どもの地域活動への参加促進
- 2-(4)-55 新成人の交流促進
- 3-(1)-56 中央図書館の利便性の向上
- 3-(1)-57 読書・学習環境の充実
- 3-(1)-58 子どもの読書活動の推進
- 3-(1)-59 流通経済大学の図書館との連携強化
- 3-(2)-60 人材バンクの充実
- 3-(2)-62 生涯学習講座等の充実
- 3-(2)-64 出前講座の充実
- 3-(3)-65 人権啓発活動の充実
- 4-(1)-68 地域文化活動の育成及び支援
- 4-(1)-69 文化会館の利便性の向上
- 4-(1)-70 鑑賞・招聘型文化活動の充実
- 4-(2)-71 文化財の指定及び保護
- 4-(2)-72 市民遺産の認定
- 4-(2)-73 歴史資源などの活用
- 4-(3)-74 歴史民俗資料館の利活用の向上
- 4-(3)-75 体験学習の充実
- 4-(3)-76 郷土史の普及促進

(2) スポーツ都市推進課 ----- P 5 6 ~ 6 6

- 5-(1)-77 流通経済大学運動部との連携
- 5-(1)-78 トップアスリートの育成
- 5-(1)-79 スポーツボランティアの充実
- 5-(2)-81 スポーツ施設の充実
- 5-(2)-82 スポーツボランティアの充実【再掲】
- 5-(2)-83 スポーツ情報発信の充実
- 5-(3)-84 スポーツ教室・イベントの充実
- 5-(3)-85 スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援

- 5-(3)-86 ニュースポーツの推進
- 5-(4)-87 スポーツ指導者の育成
- 5-(4)-88 トップアスリートの育成【再掲】

【令和2年度事業計画】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策）

（1）文化・生涯学習課 ----- P 67～77

- 1-1-1-5 学童保育ルームの充実
- 1-2-2-2 多様な学習機会の提供
- 2-4-3-1 教育の日推進事業の充実
- 2-5-1-2 各種セミナーの開催・相談体制の充実
- 2-5-2-2 子どもの読書活動の推進
- 2-5-4-1 子どもの交流・活動拠点の充実
- 2-5-4-2 子どもの地域活動への参加促進
- 2-6-1-1 人権啓発活動の充実
- 2-6-1-2 市民大学講座の充実
- 2-6-2-1 市民遺産の認定
- 2-6-2-2 歴史的資源などの活用

（2）スポーツ都市推進課 ----- P 78～82

- 1-2-3-3 トップアスリートの育成
- 1-2-3-4 総合型地域スポーツクラブの支援
- 2-6-3-1 流通経済大学運動部との連携
- 4-12-1-3 マラソン大会開催
- 4-12-1-4 旧北文間小の跡地を活用した健幸スポーツ拠点の整備

【その他】

1 電子図書館への電子書籍購入について----- P 83

【令和元年度事業報告】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン (主要施策の成果報告)

(1) 文化・生涯学習課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
目標	1	子育て環境日本一【重点目標】					
施策	1	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現					
事業名	学童保育ルームの充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、放課後等における学童保育の充実を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1						
活動実績及び成果	<p>【研修実施状況】</p> <p>○放課後子ども総合プラン研修会 11/9グレーゾーンの子どもを含む発達障害など配慮を必要とする子どもへの支援 6名参加 11/27発達障害の子どもを含めた生活づくり 2名参加 1/9子どもの生活について保護者と伝えあうことの大切さ 4名 1/29放課後児童クラブにおける保護者支援 2名 2/6子どもの発達と支援員等のよりよい関わり方 4名</p> <p>○放課後児童支援員認定資格研修 14名参加(11/4、11/23、11/24、12/1)</p> <p>【学童保育業務委託】</p> <p>11/25保育ルーム運営業務委託の契約締結 2/7保育ルーム運営に係る加配措置業務委託の契約締結 R2.4.1～業務開始(シダックス大新東ヒューマンサービス(株))</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		158,509,106	164,186,667	167,405,051	0	0
	事業費		142,547,573	148,762,592	151,982,803	0	0
	人件費		15,961,533	15,424,075	15,422,248	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		2,047	2,130	2,181	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		35,498,000	34,857,000	38,831,000	0	0
	県支出金		31,654,000	32,950,000	33,988,000	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		45,082,550	47,361,650	48,750,150	0	0
一般財源		46,274,556	49,018,017	45,835,901	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		総児童数が微減するのに対し、利用者数は毎年微増を続けており、支援員の確保など安定的なサービスの提供が必要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		児童数の増加に対応するため、特に長期休業中などは、学校の教室を借用するなど、適正に運営することが出来ている。また支援員等の研修によるスキルアップも図っており、成果目標を達成するためには有効である。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		夏季休業中などの支援員確保に苦慮していることから、運営を業者に委託することにより、支援員等の雇用と施設の運営等において安定性が期待できる。		
今後の方向性		<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>核家族化、共働き家庭の増加に伴い、本事業のニーズが年々高まっていることから、継続して実施していくことが必要であるが、一方で、支援員等の確保が通年的に困難となっていることから、次年度より保育ルームの運営と配置する支援員等の採用等の労務管理や保育ルームの運営を業務委託することとし、効率的で安定的なサービスの提供を行っていく。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
目 標	2	住んでみたいと感じるまちづくり					
施 策	2	特色ある教育環境の創造					
事業名	多様な学習機会の提供						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
活動実績及び成果	<p>アフタースクール・サタデースクールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年を第3学年から第6学年にしほり、民間事業者のノウハウを活用し、児童の自主学習の習慣化や多様な体験学習による自主性・社会性を育み、充実したスクール運営を行った。 ・アフタースクール(龍ヶ崎・大宮・川原代・龍ヶ崎西・松葉・長山・馴馬台・久保台)15～17回 <p>【アフタースクール活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主学習／プリント学習／クロスワード／数字遊び／メイク10(トランプゲーム)／ミックスワード／漢字パズル／昆虫クイズ／カレンダークイズ／国旗・国名当てクイズ／食べ物クイズ ○サッカー教室／お楽しみ会／クリスマス工作／パネルシアター／簡単クラフト／折り紙こまづくり／紙トンボづくり／タオル引きゲーム／ハロウィンおばけ工作／ペーパーヨーヨーづくり／スライムづくり <p>自主学習だけに限定せず、様々なクイズ形式による学習を取り入れ、児童の集中を高められる工夫をした。また、学期に1回程度、短時間で取り組める体験活動をプログラムに取り入れ、多様な学習機会の提供を目指した。学習だけのスクールだった昨年と比較すると、年度途中での辞退者数が減少し、高い興味・関心をもってスクールに参加する様子が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サタデースクール(八原・馴柴・城内) 17～18回 <p>【サタデースクール体験活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工作(スライム／ステンシル／はし作り／ハロウィン／モビール／モーター／グライダー／お正月／ソックススノーマン／ランタン／光の箱／プラ板) ○パネルシアター／落語教室／理科実験教室／ ○ヒップホップ教室／サッカー教室／なわとび教室／フラダンス教室／ ○メッセージカードづくり／夏祭り／お楽しみ会 <p>午後の体験活動には、季節に応じた簡単な工作や、多様な外部人材を活用した体験活動を多く取り入れた。</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		16,516,930	14,274,578	13,542,617	0	0
	事業費		10,254,510	9,593,640	9,995,500	0	0
	人件費		6,262,420	4,680,938	3,547,117	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		213	185	176	0	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		3,024,000	3,048,000	2,888,000	0	0
起 債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		13,492,930	11,226,578	10,654,617	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		本事業は、地域の教育力向上の観点、また児童の学習機会の提供、学習習慣の定着等の観点からも、その推進を図ることが必要であり、地域社会全体で子どもの豊かな人間性を養っていくための重要な事業であると考えます。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない		児童の、本事業への参加を通じて、放課後や土曜の時間帯の学習機会を提供することで、学習習慣の定着を目指す。また、体験的な活動を取り入れるなど、子どもの居場所としての機能も発揮している。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		本事業は、民間事業者への業務委託により実施しており、人材の確保や学習内容、体験学習などの活動プログラムの企画・立案・講師の確保等について、多様なネットワークと豊富な知識で事業を展開していることから効率的であると考えます。		
今後の方向性		<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>今後も、参加した児童が楽しみながら学ぶ経験を学習活動と体験活動の両面からサポートし、多様な学習プログラムを提供していきたい。また、参加する児童が、安心・安全な環境で参加できる学習形態を準備し、かつ児童及びその保護者の高い満足度が得られるような学習活動・体験活動としていきたい。事業実施にあたっては、学校や学童保育ルームとの十分な連携や、特別な支援を要する児童への対応について十分に配慮をしていきたい。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	4	龍の子の生きる力を育むまちづくり					
施 策	3	魅力があり、信頼される学校づくりの推進					
事業名	教育の日推進事業の充実						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	11月5日「龍ヶ崎教育の日」、11月の「龍ヶ崎教育月間」を中心に龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することで、市民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもを育成します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.1-3-3、2-1-4						
活動実績及び成果	<p>1 実行委員会の開催 (1)令和元年5月31日(金)、第1回実行委員会開催 ・前年度事業報告、決算報告及び令和元年度事業計画案、予算案、主要事業の協議 (2)令和2年1月31日(金)、第2回実行委員会開催 ・令和元年度事業報告及び令和元年度決算報告 ・令和元2年度事業実施に向けて</p> <p>2 作品募集 ・家族へのメッセージ ・親子でつくる給食献立</p> <p>3 市内小中学校、幼稚園、保育所等の自由参観及び高等学校、大学の取組み紹介</p> <p>4 魅力ある学校づくり推進事業「たつのこプロジェクト」 (1)たつのこプロジェクト ・市内中学校の共通テーマ「つながろう つたえよう みんなの心 みんなの笑顔 ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～」とし、今年度は、3年計画(企画・試行→実践→提言)の2年目(実践)にあたり、地域の特色を生かしながら様々な地域貢献活動を行った。 (2)たつのこフォーラムの開催 ・中学校区ごとに小学生を招いてフォーラムを開催し、地域貢献の実践報告を行ったり、今後の地域貢献活動の方向性(自分たちにできること)を話し合った。</p> <p>5 広報活動 (1)チラシ、広報誌及び公式ホームページ、佐貫駅東口デジタルサイネージ、コミュニティバス車内への掲示 (2)横断幕、のぼり旗の設置 (3)専用スペースの設置:文化会館、市役所1階ホールへの応募作品の掲示</p> <p>6 主要事業:たつのこ未来トークの開催 令和元年11月30日(土) ・市内中高生の代表による、地域貢献活動の報告及びパネルディスカッションを行った。パネルディスカッションでは、中高生がパネラーとなり活発な意見交換を行い、龍ヶ崎の未来について考えを深めた貴重な時間となった。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	4,619,227	4,308,542	7,011,829	0	0	
	事業費	266,082	241,497	226,040	0	0	
	人件費	4,353,145	4,067,045	6,785,789	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	60	56	91	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	4,619,227	4,308,542	7,011,829	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		市民の教育に対する関心と理解を深めるにあたり、学校・地域・家庭が連携し、教育の日推進事業を展開し、より良い教育環境を整備することが必要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		各教育関係機関による、教育の日関連事業の実施により、市民一人ひとりの教育に対する興味・関心と理解を深めることができ、大変有効であると考え。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		関係機関ごとに実施される事業は、それぞれ成果が出ている。コスト面では、主要事業も比較的成本のかからない内容であることから効率的と考える。		
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
今後の方向性		明日の龍ヶ崎を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、11月5日の「龍ヶ崎教育の日」、11月の「教育月間」を中心に市民の教育に対する関心と理解を深めてもらう契機とし、さらに学校・地域・家庭が連携して龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することとする。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	1	家庭の教育力の向上					
事業名	各種セミナーの開催						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	子どもを持つ親たちの学習や交流の場の提供として、子育てふれあいセミナーを開催します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-1-1						
活動実績及び成果	<p>市内の小学校低学年の保護者を対象に、「子育てふれあいセミナー」(家庭教育学級)を開講。延べ約800人</p> <p>① 開講式 令和元年5月21日:市役所附属棟第1会議室 演題:「親が気付くと子どもが変わる」～豊かな心を育てるため～ 講師:富澤 優江 氏 子どもが毎日を幸せに過ごすために、どうしたらよいのか、子どものタイプに応じた言葉選びについての研修</p> <p>② 全体研修会 令和元年7月9日:市役所附属棟第1会議室 龍ヶ崎済生会病院医師 NPO 法人グッドサマリタン理事 講師:陳 央仁 氏 演題:家庭でできる“生教育”「いのち…それは奇跡 ～生きる力を育もう～」 先生に出産でお世話になった人も含め多数の参加があった。講演内容について肯定的な評価が見られた。</p> <p>③ 移動交流学习 令和元年10月23日:大洗めんたいパーク工場→那珂湊おさかな市場 74名参加 セミナー生同士の交流を深めるため、市バスを利用した移動交流学习を行った。移動のバス車内小学生になって子どもが成長したこと、できるようになったことを1人ずつ発表した。「他の母親の話を聞いて自分の子育ての参考になった」、「同じ悩みを抱えている人がいると知って安心した」という感想があった。</p> <p>④ 閉講式 令和2年2月21日:龍ヶ崎コミュニティセンター 多目的室 コミュニケーション研究家 講師:岩崎 かをり 氏 演題:やる気を引き出すために～心を動かすアプローチ～ 「タイプ別の子どもに対する接し方、話し方について」、「自分の子どもの性格をしっかりと思い浮かべ、子どもに合った話し掛け方が重要であること」、「親自身が子育てを楽しむことの大切さ」について参考になったという参加者からの感想が寄せられた。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	2,552,279	2,773,081	2,853,563	0	0	
	事業費	2,017,682	2,082,451	2,082,451	0	0	
	人件費	534,597	690,630	771,112	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	33	36	37	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	2,552,279	2,773,081	2,853,563	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	小学校1年生の子どもをもつ親たちを中心に子育てへの不安や悩みを解消し、家庭教育の理解と重要性の認識を向上させることで家庭教育の推進を図ることが出来た。また、相互に悩みを話し合うことができる仲間づくりの場の提供しており、ニーズはある。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	子育てへの不安や悩みを解消し、家庭教育の理解と重要性の認識を向上させることで家庭教育の推進を図ることが出来た。セミナーを通しての学びや、セミナー生相互の交流で得た体験を子育てや親としての成長に生かすことが出来ており有効である。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	□ 現行どおり ■ 見直しが必要	事業の周知・情報発信の充実を図り、各学校の担当役員のみならず、多くの受講生の確保が出来た。講師の選定や講話内容の充実、これまで以上に保護者の参加促進に向けて見直しが必要と考える。			
今後の方向性	<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>就学前の保護者に対して行う、就学時健診時の家庭教育講話から、家庭教育の重要性について理解するための場の提供を充実させる。各学校の子育てふれあいセミナー担当(教頭)と連携しながら、小学校低学年の保護者を対象に事業を実施する。セミナー生が必要とする課題について事前アンケートから把握し、よりの確なテーマで保護者が家庭教育の重要性を理解できるよう準備する。同時に、日頃の子育てに役立てることが出来るようなセミナーを検討していく。平日開催のため、仕事をしている保護者の参加促進が課題である。</p>						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	1	家庭の教育力の向上					
事業名	相談体制の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	家庭教育の悩みなどに対して、家庭教育指導員による家庭教育相談を実施します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-1-2						
活動実績及び成果	<p>(1)相談者の相談内容(子育てに関する悩みや、学校生活等における心配ごとなど)に応じて、適切なアドバイスや関係機関との連絡調整を行うなどで心配ごとが解消された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談案件 2件 ・相談回数 5回 <p>(2)関係機関との連絡調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍の子支援会議による情報の共有化 <p>(3)各小学校で開催される子育てふれあいセミナーや移動交流学習において、日頃子供とのコミュニケーションの取り方やしつけに戸惑いを感じることで悩んでいる保護者からの相談を受けた。地域とのつながりづくりや専門機関との橋渡しをすることで、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育のサポートをすることが出来た。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	2,323,166	2,345,629	308,445	0	0	
	事業費	2,017,682	2,038,682	0	0	0	
	人件費	305,484	306,947	308,445	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	30	30	4	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,323,166	2,345,629	308,445	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	相談者の相談内容に応じて、適切なアドバイスや関係機関との連絡調整を行うことから事業に関する役割は重要である。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	相談者の子育てに関する悩みや、学校生活等における心配ごとなどの相談内容が解消されるため有効である。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要	関係機関(小中学校、教育センター)などと連携を図りながら、家庭環境や子育てに関する悩みなどの相談に、家庭教育指導員が無料で対応しているため相談しやすい。相談件数は年間を通して少ないため、人員の見直しが必要。			
今後の方向性		<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止 </p> 子育て支援会議など関係機関(小中学校、教育センター、子ども家庭課)などと情報を共有し、連携を図りながら、家庭環境や子育てに関する悩みなどの相談に、積極的に対応していきたい。相談の内容によっては長期化することもあるが、継続して丁寧に対応していきたい。課内の事務分担の見直しを行うことにより、令和2年度から家庭教育指導員を2名から1名体制とする。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
施策	2	幼児教育の充実				
事業名	子どもの読書活動の推進					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	子ども読書活動推進計画(第3次)に基づき、幼児期における読み聞かせや読書の重要性の周知を図り、子どもが自主的に読書に取り組む環境整備を進めます。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-1-3					
活動実績及び成果	<p>(1)中央図書館司書による小学校等への出前講座の実施 小学校や保育ルームに出前講座の実施希望を募り、要望に合わせて出前講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ルーム 5月～6月 保育ルームへ出前講座の希望調査 7月～8月に7ルーム、12月に2ルームへ出前講座実施 計9ルームへ実施 ※3月実施予定だった1ルームはコロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・学校 7月～8月 城ノ内小学校へ希望調査と実施内容の調整 9月17日 2年生 テーマ・言い伝えられているお話 11月26日 1年生 テーマ・ブックトーク「名前」 12月23日 3年生 テーマ・龍ヶ崎・牛久の昔話 ・つぼみ園 12月16日 クリスマスのおはなし <p>(2)中央図書館における子ども向けイベントの充実 定期的に行っているおはなし会等のほか、子どもや親子を対象としたイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども司書講座 2期(各5講座) 計8名参加 ・赤ちゃんタイムにおけるイベント 6月11日 ママと赤ちゃんのコミュニケーション講座 33名参加 11月12日 もっと楽になる!おんぶ・だっこ講座 16組参加 ・プログラミング講座(新規) 7月25日・8月10日 小学生を対象にスクラッチを利用して簡単なゲームを作る講座 親子9組参加 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	1,870,064	667,494	570,979	0	0
	事業費	1,717,322	53,600	31,200	0	0
	人件費	152,742	613,894	539,779	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	24	9	7	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
起債	0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	1,870,064	667,494	570,979	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	子どもの読書活動は、法律により計画を策定して推進に努めるよう規定されているもので、当市の実情に応じて読書環境の充実に取り組んでいる。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	子ども読書活動推進計画(第3次)の実績について、附属機関による客観的な意見や評価を得ることで、成果が向上し、指標値の一つである中央図書館の子ども向けイベントの参加者数は、目標値を大きく上回っている。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	子ども読書活動推進計画(第3次)で施策を担当している課や学校、中央図書館(指定管理者)が連携することで、効率的に実施されている。		
今後の方向性	<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> 多様な環境下にある子どもたちに均しく読書の働きかけを行うためには、学校や図書館など複数の機関の連携が求められる。図書館については、館内の事業はもちろん、学校などでも推進事業が実施できるよう、外部と積極的に調整して行く必要がある。また、平成30年4月に第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されたことに伴い、茨城県においても現行計画が第四次として改訂される予定であり、今後は、本市も第四次計画策定を想定してアンケート等を実施し、子どもの読書活動状況を把握するなど計画を遂行して行く。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	3	子どもが健全に育つ環境の整備					
事業名	学童保育ルームの充実【再掲】						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、放課後等における学童保育の充実を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1						
活動実績及び成果	<p>【研修実施状況】</p> <p>○放課後子ども総合プラン研修会 11/9グレーゾーンの子どもを含む発達障害など配慮を必要とする子どもへの支援 6名参加 11/27発達障害の子どもを含めた生活づくり 2名参加 1/9子どもの生活について保護者と伝えあうことの大切さ 4名 1/29放課後児童クラブにおける保護者支援 2名 2/6子どもの発達と支援員等のよりよい関わり方 4名</p> <p>○放課後児童支援員認定資格研修 14名参加(11/4、11/23、11/24、12/1)</p> <p>【学童保育業務委託】</p> <p>11/25保育ルーム運営業務委託の契約締結 2/7保育ルーム運営に係る加配措置業務委託の契約締結 R2.4.1～業務開始(シダックス大新東ヒューマンサービス(株))</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	158,509,106	164,186,667	167,405,051	0	0	
	事業費	142,547,573	148,762,592	151,982,803	0	0	
	人件費	15,961,533	15,424,075	15,422,248	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	2,047	2,130	2,181	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	35,498,000	34,857,000	38,831,000	0	0	
	県支出金	31,654,000	32,950,000	33,988,000	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	45,082,550	47,361,650	48,750,150	0	0	
一般財源	46,274,556	49,018,017	45,835,901	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	総児童数が微減するのに対し、利用者数は毎年微増を続けており、支援員の確保など安定的なサービスの提供が必要である。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	児童数の増加に対応するため、特に長期休業中などは、学校の教室を借用するなど、適正に運営することが出来ている。また支援員等の研修によるスキルアップも図っており、成果目標を達成するためには有効である。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	夏季休業中などの支援員確保に苦慮していることから、運営を業者に委託することにより、支援員等の雇用と施設の運営等において安定性が期待できる。			
今後の方向性		<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>核家族化、共働き家庭の増加に伴い、本事業のニーズが年々高まっていることから、継続して実施していくことが必要であるが、一方で、支援員等の確保が通年的に困難となっていることから、次年度より保育ルームの運営と配置する支援員等の採用等の労務管理や保育ルームの運営を業務委託することとし、効率的で安定的なサービスの提供を行っていく。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	3	子どもが健全に育つ環境の整備					
事業名	多様な学習機会の提供【再掲】						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
活動実績及び成果	<p>アフタースクール・サタデースクールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年を第3学年から第6学年にしほり、民間事業者のノウハウを活用し、児童の自主学習の習慣化や多様な体験学習による自主性・社会性を育み、充実したスクール運営を行った。 ・アフタースクール(龍ヶ崎・大宮・川原代・龍ヶ崎西・松葉・長山・馴馬台・久保台)15～17回 <p>【アフタースクール活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主学習／プリント学習／クロスワード／数字遊び／メイク10(トランプゲーム)／ミックスワード／漢字パズル／昆虫クイズ／カレンダークイズ／国旗・国名当てクイズ／食べ物クイズ ○サッカー教室／お楽しみ会／クリスマス工作／パネルシアター／簡単クラフト／折り紙こまづくり／紙トンボづくり／タオル引きゲーム／ハロウィンおばけ工作／ペーパーヨーヨーづくり／スライムづくり <p>自主学習だけに限定せず、様々なクイズ形式による学習を取り入れ、児童の集中を高められる工夫をした。また、学期に1回程度、短時間で取り組める体験活動をプログラムに取り入れ、多様な学習機会の提供を目指した。学習だけのスクールだった昨年と比較すると、年度途中での辞退者数が減少し、高い興味・関心をもってスクールに参加する様子が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サタデースクール(八原・馴柴・城内) 17～18回 <p>【サタデースクール体験活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工作(スライム／ステンシル／はし作り／ハロウィン／モビール／モーター／グライダー／お正月／ソックススノーマン／ランタン／光の箱／プラ板) ○パネルシアター／落語教室／理科実験教室／ ○ヒップホップ教室／サッカー教室／なわとび教室／フラダンス教室／ ○メッセージカードづくり／夏祭り／お楽しみ会 <p>午後の体験活動には、季節に応じた簡単な工作や、多様な外部人材を活用した体験活動を多く取り入れた。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	16,516,930	14,274,578	13,542,617	0	0	
	事業費	10,254,510	9,593,640	9,995,500	0	0	
	人件費	6,262,420	4,680,938	3,547,117	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	213	185	176	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	3,024,000	3,048,000	2,888,000	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	13,492,930	11,226,578	10,654,617	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	本事業は、地域の教育力向上の観点、また児童の学習機会の提供、学習習慣の定着等の観点からも、その推進を図ることが必要であり、地域社会全体で子どもの豊かな人間性を養っていくための重要な事業であると考えます。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	児童の、本事業への参加を通じて、放課後や土曜の時間帯の学習機会を提供することで、学習習慣の定着を目指す。また、体験的な活動を取り入れるなど、子どもの居場所としての機能も発揮している。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	本事業は、民間事業者への業務委託により実施しており、人材の確保や学習内容、体験学習などの活動プログラムの企画・立案・講師の確保等について、多様なネットワークと豊富な知識で事業を展開していることから効率的であると考えます。			
今後の方向性		<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>今後も、参加した児童が楽しみながら学ぶ経験を学習活動と体験活動の両面からサポートし、多様な学習プログラムを提供していきたい。また、参加する児童が、安心・安全な環境で参加できる学習形態を準備し、かつ児童及びその保護者の高い満足度が得られるような学習活動・体験活動としていきたい。事業実施にあたっては、学校や学童保育ルームとの十分な連携や、特別な支援を要する児童への対応について十分に配慮をしていきたい。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	4	子どもの交流と活動の促進					
事業名	子どもの交流・活動拠点の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	たつのこやま管理棟の施設を利用して、サポーターやボランティアの見守りにより、子どもたちの自由な発想を育む空間を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-1						
活動実績及び成果	<p>(1)たつのこやま管理棟内における「子どもの居場所づくり事業」施設来館者数：16,092人 NPO法人ティディ・ベア(土・日曜日 10:00～16:00) 龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00～16:30) たつの子山囲碁クラブ(月曜日 13:00～16:30) (2)たつのこプレーパーク「第14回たつのこ遊んじゃ王」：令和元年7月13日実施 子ども48名、大人30名参加 たつのこプレーパーク「第15回たつのこ遊んじゃ王」：令和2年3月14日(土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環により開催中止</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	2,972,219	844,104	2,656,710	0	0	
	事業費	2,284,880	0	1,962,709	0	0	
	人件費	687,339	844,104	694,001	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	38	11	35	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,972,219	844,104	2,656,710	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	1)たつのこやま周辺の賑わい創出に寄与している。 2)民間が主体であるべきだが、民間団体の関与・育成が難しく検討を要する。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	1)利用者数は高い数字を保っており、十分有効である。 2)集客が天候に左右されやすい面があるが、そのほか事業と時期をずらして実施せざるを得ず、好ましい時期に開催することが難しい。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要	1)現在3名を配置しているが、最小限の見守りとした際2名でも十分対応可能である。 2)イベントのスタートから5年が経過したが、実施を任せられる民間団体が存在せず、市主催での開催については効率性の観点から見直しを要する。			
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
今後の方向性		1)たつのこやま管理棟での居場所づくり事業については、配置人数を現行の3名から2名にして効率化を図りつつ、利用する子供たちを安全に見守っていく。 2)事業として複数の課題を抱えていることから、事業開始から5年の経過を節目とし、市主催でのイベント実施を廃止とする。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	4	子どもの交流と活動の促進					
事業名	子どもの地域活動への参加促進						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	子どもの地域活動への参加を促し、青少年の健全育成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-3						
活動実績及び成果	<p>・青少年育成龍ヶ崎市民会議から小中学校を通して児童・生徒に「まちづくりポイント制度」の周知を行い、市内一斉清掃(6月・11月・3月)への参加を呼びかけ、参加した児童・生徒には学校を通してまちづくりポイントシールを配布した。</p> <p>・青少年育成龍ヶ崎市民会議、青少年相談員等とともに「あいさつ・声かけ運動」を実施。市内各小学校において児童の登校時にのぼり旗を掲げ、子どもたちにあいさつ、声掛けを実施した。</p> <p>7月8日(月) 市内小学校 : 午前7時40分～ 市内ショッピングセンター 3箇所 : 午後5時～</p> <p>11月5日(月) 市内小学校 : 午前7時40分～ 市内ショッピングセンター 3箇所 : 午後4時30分～</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	1,132,823	1,060,840	1,065,335	0	0	
	事業費	140,000	140,000	140,000	0	0	
	人件費	992,823	920,840	925,335	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	15	14	14	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	1,132,823	1,060,840	1,065,335	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	家庭や学校、または地域において、「あいさつ・声かけ」をするなどの手法により、児童・生徒との関わりを持ち、市民が皆で健やかな成長や自立心を育ませる取り組みは社会ニーズである。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	青少年育成事業の連携をするため、各団体が実施する全ての事業で相互の会員が参加することで協力体制を築いており、目標達成に有効なものとなっている。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直しが必要	青少年育成団体など多くの団体と協力して事業を展開している。			
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止 今後も児童・生徒の市内一斉清掃への参加呼びかけやあいさつ・声かけ運動を通して青少年の健全育成を図る。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進					
事業名	第九コンサート						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	市の音楽団体を中心とした実行委員会を設立し、一般市民から団員を募り、日本の代表的音楽家とともに第九コンサートを開催し、当市の音楽文化の振興を図ります。						
関連計画等での位置付け							
活動実績及び成果	<p>(1) 実行委員会の設立・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会 (H31年2月23日) ・合唱団員向け広報紙「F龍gel」発行 第1～第10号 ・団員募集に伴う広報活動開始 (H31. 3月) : 市広報紙による周知 (4月1日)、SNSによる拡散、実行委員によるチラシ配布 (佐貴駅東口、市役所職員入口、サプラ入口) 等 ・申込受付開始 (4月5日) <p>(2) コンサート開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結団式 (5月12日) ・合唱練習 (5月～12月) ・チケット販売 (9月27日～) ・広報活動: 市広報紙による周知 (9月17日)、定例記者会見 (9月25日)、文化会館HP・サイネージ掲載、SNS等による拡散、各種イベント開催に合わせてチラシを配置・配布 <p>(3) 開催 (12月15日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏内容 第1部 歌劇「魔笛」序曲、第2部 「交響曲第九番二短調125(合唱付)」 指揮 山下一史 / 管弦楽 新交響楽団 / 独唱 ソプラノ: 澤畑恵美、アルト: 加納悦子、テノール: 福井敬、バリトン: 黒田博 / 合唱 龍ヶ崎第九合唱団 ・合唱団員 244名 ・入場者数 1,126名 <p>(4) 開催後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解団式 (1月13日) ・りゅうほーで開催の様様を紹介 (2月前半号) ・写真展 (1月31日～2月2日) 						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	0	0	1,002,446	0	0	
	事業費	0	0	0	0	0	
	人件費	0	0	1,002,446	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	13	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	1,002,446	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		前回開催から5年が経過していたこともあるが、演奏会の入場者数や初めて第九を歌う参加者数も多くあったことから、市民の需要が高い事業であったといえる。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		まちづくり・文化財団と協力し、市民が中心となって実行委員会を組織して実施・成功させた事業であり、市民協働、音楽振興の両面において有効であった。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		まちづくり・文化財団と市民による実行委員会が主催することにより、チケット価格を抑え、多くの入場者を呼び込むことができた。一方で、実行委員会と言いながらも結果的にまちづくり・文化財団が大部分の事務を担う形となり、負担が大きかった。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	5～10年毎に継続して開催され、今回が6回目の開催だった。第九演奏会は年末等に多くの市町村で開催されているが、市民の手作りともいえる当市の演奏会は、今後も継続して開催を検討する意義は高い。しかしながら、「協働」という面では課題が多く残った。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進					
事業名	人権啓発活動の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	人権尊重について、身近で大切なものと感じ、理解を深めることのできる啓発を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-3-1						
活動実績及び成果	<p>人権啓発に係るパネル展の開催 12月4日～10日の人権週間に啓発パネルを展示</p> <p>(1)開催準備 ・人権教育啓発推進センターへパネルの借用申込(7月) ・チラシ作成(9月) ・市庁舎1階ホールの利用申請(11月) ・広報活動 リゅうほー11月後半号掲載 市内中学校全生徒へ学校を通して配布、市内小学校及びコミュニティセンター等公共施設へポスター配布依頼</p> <p>(2)開催 ・日時:12月3日(火)～12日17日(火) 9時～17時 ・場所:龍ヶ崎市庁舎1階 ホール ・「人権まんがパネル」21点を展示 ・人権啓発チラシを配置</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	235,309	157,393	201,882	0	0	
	事業費	6,196	3,920	47,660	0	0	
	人件費	229,113	153,473	154,222	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	3	2	3	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	235,309	157,393	201,882	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	人権週間における人権尊重思想の普及・高揚のための啓発活動は、全国的に展開されるもので、市としても普及活動を実施する必要がある。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	人権の啓発は、事業を継続して実施することで効果があると思われるが、パネルの展示だけで集客することは難しく、より多くの方に目にしてもらうためには、年毎に開催会場を変えるなど開催方法を検討する必要がある。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	必要最小限のコストで実施している事業であり、効率性は高い。			
今後の方向性		<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>人権啓発推進のため今後も事業を継続して行くが、パネル展示の開催場所など、手法については検討していく必要がある。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実					
事業名	市民遺産の認定						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財以外で、市民に親しまれている身近な自然や歴史的・文化的な遺産を、「龍ヶ崎市民遺産」として認定し、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-2						
活動実績及び成果	<p>1 認定候補物件の公募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/1から市公式ホームページにおいて「令和元年度市民遺産候補募集」の記事を掲載 ・リゅうほー6月前半号において、平成30年度認定市民遺産の紹介と共に、令和元年度認定候補の募集記事を掲載 ・9月末日までにおいて、市民からの候補推薦は無かった。 <p>2 候補物件についての調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「旧竹内農場赤レンガ西洋館及び竹内家文書」を認定候補物件として市から推薦すべく、これまでの調査結果などを基に推薦資料を作成。 <p>3 文化財保護審議会への諮問・答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会での了承を得て、11月22日付けで文化財保護審議会に対し諮問。 ・12月20日に「令和元年度第1回文化財保護審議会」を開催。委員からの意見を取りまとめ、12月26日付けで市民遺産への認定が妥当である旨の答申を受ける。 <p>4 市民遺産への認定・告示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年第1回教育委員会定例会に附議し、1月22日付けで正式に市民遺産として認定。同23日付けで告示。 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		3,528,651	2,612,927	3,011,714	0	0
	事業費		1,084,780	924,720	1,546,600	0	0
	人件費		2,443,871	1,688,207	1,465,114	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		46	34	39	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		3,528,651	2,612,927	3,011,714	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		後世に残していきたい当市の宝を「市民遺産」として認定し、保存・継承に資するための制度であり、市民の郷土への誇りや愛着の醸成にも繋がるものとして重要な事業であると考えます。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		今回の認定で13件目となり、「平成33年度までに12件」という当初目標値を既に上回る成果を挙げており、順調である。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		行政が主体となって実施すべき事業であり、民間委託にはそぐわない。また、受益者負担が発生する事業ではない。		
今後の方向性		<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>引き続き、郷土の誇りとして注目されるべき地域の伝統行事等の候補物件掘り起こしに努め、様々な形で市民遺産制度をアピールしていくことで、後継者育成の間接的なサポートや、当市の魅力度向上に繋げていく。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実					
事業名	歴史的資源などの活用						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財や市民遺産などの資源を活用し、その他の地域資源と組み合わせた散策・観光コースを提案するなど、魅力的な環境づくりを推進します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-3						
活動実績及び成果	<p>1 「国指定重要文化財『絹本著色十六羅漢像(複製)』公開展の実施 ・歴史民俗資料館企画展示室において、5/11(土)～5/26(日)開催【来場者数:866名】</p> <p>2 国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」の複製 ・第9尊者～第12尊者までの4幅の掛軸の複製を業務委託により作製 【委託先:(株)日展 契約額:5,203,000円 履行期間:R元. 6. 7～R2. 2. 28】</p> <p>3 旧竹内農場赤レンガ西洋館の一般公開に向けた環境整備【ブレイクダウン事業】 (1)建物に隣接して生えている樹木13本の伐採、1本の剪定を業務委託により実施 【委託先:(有)ヤマキ 契約額:876,600円 履行期間:R元. 9. 2～R元. 9. 30/R2. 3. 18】 (2)見学者の安全確保のためのフェンス設置を業務委託により実施 【委託先:(株)栄林 契約額:4,497,900円 履行期間:R2. 1. 10～R2. 3. 21】 (3)竹内農場や赤レンガ西洋館の建物に関する説明板の設置を業務委託により実施 (県指定文化財1件、市民遺産1件の説明板と一括して業務委託) 【委託先:鴻巣工芸 契約額:1,529,000円 履行期間:R元. 12. 25～R2. 3. 25】 (4)敷地内に碎石敷きの仮駐車スペースを整備 ・敷均し用の碎石(M-30、64m³)購入【購入先:(株)小川建材 購入額:262,592円】 ・道路整備課施設管理事務所に敷均し作業を依頼し、3台分の駐車スペースを確保(3月)</p> <p>4 歴史的・文化的資源活用のための庁内連携組織の結成【ブレイクダウン】 ・企画課、シティセールス課、健康長寿課、スポーツ都市推進課、商工観光課、教育総務課、指導課を招集し、歴史的・文化的資源活用に関する協議を実施【第1回会議:7/8(月) 第2回会議:11/14(木)】 ・上記会議メンバーからの意見を集約し、「龍ヶ崎市の歴史的・文化的資源活用に係る連絡調整会議規程」を策定(3月)</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		305,484	6,549,055	13,021,887	0	0
	事業費		0	5,321,268	10,939,884	0	0
	人件費		305,484	1,227,787	2,082,003	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	4	85	170	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		305,484	6,549,055	13,021,887	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		指定文化財や市民遺産をはじめとする歴史的・文化的資源は当市の貴重な財産であり、その有効な活用方法を全庁的な連携のもとに協議していく体制づくりは必要なものである。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		市民遺産に認定された旧竹内農場赤レンガ西洋館を筆頭に、説明板の設置など歴史的・文化的資源活用のための整備事業が順調に進んでいる。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		今後も庁内各課がお互いに連携・協力して歴史的・文化的資源の活用に取り組むことにより、事業の効率化と質の向上が図られる。		
今後の方向性		<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>市が主催する各種イベントや小学校での郷土学習等において、政策間連携のもと歴史的・文化的資源を有効活用し、市内の多くの方に当市の魅力を伝え、シビックプライドの醸成や市の知名度向上・活性化に繋げていく取り組みを今後も継続していく。指定文化財や市民遺産を見学するイベントに関連して、市内の老舗菓子店が作る稲荷寿司を昼食として提供(実費負担)するなどの新たな試みを行ったところ好評であったことから、引き続き同様の事業実施を検討する。</p>					

ブレイクダウンに関する進行管理シート

主要事業名【担当課】	祭礼等の保存継承	【文化・生涯学習課】	令和元年度
------------	----------	------------	-------

1 主要事業の概要

目的	市内で続いている祭礼等を貴重な地域資源と捉え、これらを調査し、記録保存する
内容	市内の祭礼等の有無を悉皆調査して全体を把握し、その後に行う内容調査の計画を策定する

2 活動実績及び成果

活動実績 及び成果	<p>1 周知(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会並びに各コミュニティセンター長宛に通知文を送付。あわせて市民協働課を介して、センター長会議に出席し調査への協力を依頼した。 <p>2 調査(7月～2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査区域 … 馴柴、八原、北文間、長戸、大宮の5地区とする。 ・調査方法 … 地区毎に「市民俗調査報告書」、「市史」などの文献調査を行い、各コミュニティセンター長、区長(地域代表者)等にヒアリングを実施。 ・調査事項 … 聞き取り調査により、現在も実施されている祭礼等の分布状況や祭礼等に詳しい人物の紹介を受け、地区毎に調査シートを作成。 <p>3 分布状況調査報告書の作成(2月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査シートを取りまとめ「龍ヶ崎市伝統的祭礼・行事等基礎調査一覧」を作成。
--------------	---

3 コスト情報

コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	4,009,784	0
事業費		0	0	0	0	0
人件費		0	0	4,009,784	0	0
市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	52	0	0
	財源内訳(円)					
国支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	4,009,784	0	0

4 取組状況及び事業推進上の課題

取組状況及び 事業推進上の課題	<p>調査項目(祭礼、行事等)が概ね単一自治区(小字)単位で実施しているため、各地区コミュニティセンター長や区長等の調整とあわせ、紹介を受けた祭礼等に詳しい人物との日程等の調整に時間を要したことから、今年度は5地区を対象を絞り調査を行ったが、市内全域の調査に向けては、今後も継続事業(複数年)とする必要がある。</p>
--------------------	---

(2) スポーツ都市推進課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	2	住んでみたいと感じるまちづくり					
	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進					
	総合型地域スポーツクラブの支援						
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	クラブの活動や実施事業を広報紙や市公式ホームページへ掲載し、活動状況の周知を図るとともに、活動場所・練習施設等の支援を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-3-2						
活動実績及び成果	<p>(1)総合型地域スポーツクラブの活動内容の市民への周知 クラブの活動を市のホームページにリンクし、市民に広く周知した。</p> <p>(2)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 活動場所・練習場所について連携協力し、市民へのスポーツ機会の充実を図った。</p> <p>(3)総合型地域スポーツクラブ(クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生陸上記録会直前合同練習会【新規】(小学校5年生/6年生対象) 陸上記録会に向けた「走る・跳ぶ・投げる」といったスポーツの基本動作について学ぶ講習会をたつのこフィールドにて実施 実施日:4/22・4/26・5/8・5/10・5/13 計5回 参加者:延べ194名 中学生部活動コンディショニングレクチャー【新規】 中学生部活動の競技力向上のため、全スポーツに共通する体幹トレーニングや呼吸法・栄養学といった指導を専門のアスレティックトレーナーを派遣することにより実施した。 実施回数:15回 愛宕中・中根台中・城西中・城ノ内中/バレーボール部 バスケットボール部 剣道部他 ランニングクリニック たつのこフィールドにて11/2(土)に実施。参加者数:118名 流通経済大学の客員教授 谷川真理氏を講師に迎え、ランニングフォームなどのワンポイントレッスンやスキップ・腿上げなど動的ストレッチを含めた反復練習等を実施した。 ウォーキング講座 各コミュニティセンターを拠点として、各々年に3回程度のウォーキング講座を実施。 講座の中でポールを使ったウォーキングの指導等を行った。実施回数:33回 参加者数:延べ557名 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		381,855	1,875,894	3,829,682	0	0
	事業費		0	1,262,000	3,058,570	0	0
	人件費		381,855	613,894	771,112	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)		76,741	5	24	50	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		381,855	1,875,894	3,829,682	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		NPO法人クラブ・ドラゴンズは市内唯一の総合型スポーツクラブであり、子どもから高齢者までそれぞれのレベルに合わせて参加できる教室を運営するスポーツクラブであり、スポーツ活動を推進する上で今後も市として協力・連携していくことが必要。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		NPO法人クラブ・ドラゴンズと連携した事業の中で、今年度新たな試みとして小学生を対象とした「陸上記録会直前陸直前合同練習会」や「中学生部活動コンディショニングレクチャー」を実施し、ジュニアアスリートの育成にも取り組むなど事業内容も充実してきている。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		NPO(特定非営利活動)法人としてのクラブであり、不特定かつ多数のものの利益に寄与することを目的としたもののため、民間委託はそぐわない。		
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止 総合型地域スポーツクラブとの連携強化を図るとともに、運営支援や活動拠点の確保などにより、総合型地域スポーツクラブの自立的運営と質的充実を図っていく。また、来年度より龍ヶ崎市総合体育館外13施設の指定管理者である「たつのこまちづくりパートナーズ」の構成員となったことにより、さらに充実したスポーツ施策の展開が期待できる。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～				
目標	2	住んでみたいと感じるまちづくり				
施策	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進				
事業名	トップアスリートの育成					
担当課	スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	トップアスリートを育成するための環境整備を行います。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-2、5-4-2					
活動実績及び成果	<p>(1)スポーツ指導者養成講習会の実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 開催日:2月29日(土) 会場:たつのこアリーナ多目的室 内容:やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング、ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p> <p>(2)技術講習会の実施 ・流通経済大学硬式野球部野球教室 日時:12月1日(日) 会場:たつのこスタジアム 対象:小中学生 参加者数:140名 ・テニス技術講習会 日時:2月29日(土) 会場:龍ヶ岡公園テニスコート 対象:小学生から成人 参加者数:26名</p> <p>(3)全国大会等出場者へ激励金の交付及び成績優秀者への表彰 激励金交付件数:51件 表彰式:2月8日(土) 表彰対象者:団体4団体 個人57名 功労者(指導者)2名</p> <p>(4)オリンピック・パラリンピック出場者への特別奨励金制度の検討 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場内定者への金銭面での支援に関する新制度を検討し、令和2年度に予算化した。</p> <p>(5)活動支援として市総合運動公園(たつのこアリーナ)等の施設提供 スポーツライミング・野口啓発選手の活動支援のため、たつのこアリーナ・メインアリーナにスピード壁設置場所を提供するとともに、トレーニング室等のアリーナ施設の貸出を行った。(壁の設置は平成31年1月～令和元年9月)また、市内在住のパラリンピック出場候補選手に対しボート競技専用トレーニングマシン設置場所の提供を行った。(平成31年4月～令和元年9月)</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	2,464,164	2,570,936	2,965,435	0	0
	事業費	1,242,228	1,036,202	1,114,765	0	0
	人件費	1,221,936	1,534,734	1,850,670	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	32	33	39	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
起債	0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,464,164	2,570,936	2,965,435	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	トップアスリートの活躍はスポーツ振興だけでなく市民のふるさと意識の醸成及び地域活性化につながるもの期待されており、トップアスリートの育成施策の必要性は高いと思われる。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	講習会については、トップアスリートや流経大運動部の知見を活用した指導内容に対し参加者が満足している。また、激励金についても選手の活動支援として活用されている。		
効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	講習会・表彰式については、市体育協会及び流経大と連携して行うことで、効果的に市内スポーツ関係団体の活性化が図られるため、民間委託等の導入は適さない。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止 優れた素質を有するまたはトップレベルを目指している競技者に対し、高度な指導ができるようスポーツ指導者養成講習会等を定期的で開催するとともに、ジュニア期からトップアスリートを育成していくため、市内スポーツ団体と連携し養成講座等の実施を検討していく。また、本市出身で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場内定者への支援に関する新制度について、実施要綱の策定及び運用を実施する。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	4	龍の子の生きる力を育むまちづくり					
施 策	1	知・徳・体のバランスのとれた教育の推進					
事業名	部活動の活性化						
担当課	スポーツ都市推進課／教育総務課／指導課						
事業の概要・目的	部活動に所属する生徒の技術向上及び部活動の活性化を図るため、外部指導員の配置を行うとともに、教員の長時間労働の負担軽減を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.1-1-3-2						
活動実績及び成果	<p>【スポーツ指導者派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者派遣事業 派遣実績:5中学校、7競技、指導者9名 愛宕中学校:バスケットボール 城南中学校:剣道 城西中学校:卓球、バスケットボール 中根台中学校:柔道、陸上 城ノ内中学校:卓球、弓道、ソフトテニス <p>【部活動の在り方に関するガイドライン作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月に「部活動の在り方に関する活動方針」を作成し、各中学校に連絡しフォローアップを進めている。 ・2月に部活動の運営について見直しを図った。 						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	1,009,583	1,336,160	1,210,593	0	0	
	事業費	398,615	492,056	516,592	0	0	
	人件費	610,968	844,104	694,001	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	13	17	16	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	1,009,583	1,336,160	1,210,593	0	0		
事業 評 価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	中学校部活動においては、教育委員会管轄のため、市が事業主体であることが妥当である。 中学校からの運動部活動外部指導者の派遣希望は多く、ニーズは高い。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	専門的な技術指導ができる指導者を派遣することにより、部員の技術向上に繋がっている。多くの部活動に派遣できるように指導者バンクの充実を図る必要がある。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要	市体育協会と連携をして行っているため、民間委託等の導入は適さない。			
今後の方向性		<p style="text-align: center;">■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>今後も市体育協会と連携を図りながら、スポーツ指導者バンクの充実に努め、運動部活動における外部指導者の活用を促進していく。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～						
目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり						
施策	3	スポーツ環境の充実						
事業名	流通経済大学運動部との連携							
担当課	企画課／スポーツ都市推進課							
事業の概要・目的	流通経済大学運動部応援ツアーの開催や総合運動公園における公式戦開催への協力、運動部活動の情報発信等を行うとともに、大学運動部と各種団体が連携したイベント開催等を推進し、市民がスポーツに親しむ機会を提供します。							
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-1							
活動実績及び成果	<p>(1)各運動部の公式試合日程等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報紙、市公式ホームページ、SNSや佐貫駅デジタルサイネージなどを活用した継続的な試合情報の提供のほか、サッカー公式戦集中応援日等のイベントについても積極的な告知を行い来場者の増加を図った。 <p>(2)市の運動施設の優先貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカー：関東大学サッカーリーグ戦9試合 日本フットボールリーグ(JFL)14試合 ラグビー：関東大学ラグビーリーグ2試合 硬式野球：東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ戦5試合 陸上競技：流通経済大学陸上競技会7大会(9日間) <p>(3)運動部応援バスツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカー部 天皇杯2回戦 対 浦和レッドダイヤモンズ戦、7月3日、浦和駒場スタジアム、参加者26人 ラグビー部 関東大学ラグビーリーグ1部 対 大東文化大学戦、11月9日、秩父宮ラグビー場、参加者23人 <p>(4)世界で活躍する流通経済大学運動部卒業生の応援活動</p> <p>ラグビーワールドカップ2019日本大会の日本代表中島イシレリ選手(流通経済大学ラグビー一部出身)が市長を表敬訪問した際に、市役所1階ロビーにおいて、来庁された市民の方々と共に歓迎し、花束贈呈を行った。その後、市役所1階ロビー、たつのこアリーナにおいて、写真やサイン入りのボール、ユニフォームなどの展示を行い応援サポート活動を推進した。</p>							
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)		1,003,951	1,011,653	1,016,686	0	0	
	事業費		11,128	14,076	14,240	0	0	
	人件費		992,823	997,577	1,002,446	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)		76,741	13	13	13	0	0
	財源内訳(円)							
	国支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
起債		0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)		0	15,500	0	0	0		
一般財源		1,003,951	996,153	1,016,686	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		市民がスポーツに親しむ機会を提供するために、総合運動公園における公式戦開催の協力や情報発信など、大学運動部と連携した継続的な取組が必要である。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		市民に対し身近な場所で全国レベルの大学スポーツを観戦できる機会が提供されるなど、有効性ある取組であると考える。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		応援バスツアー参加者から負担金を徴収し、市バス使用料程度の歳入を確保している。			
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
		今後も、継続的に様々な媒体を活用し、各運動部の公式試合日程等の情報提供を行うとともに、流通経済大学運動部の総合運動公園における公式戦開催への協力を行っていく。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
	12	スポーツ健幸日本一【重点目標】					
	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
	ニュースポーツの推進						
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	年齢や性別を問わずに楽しめるニュースポーツを推進し、市民の健康増進を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-3-3						
活動実績及び成果	<p>(1)ニュースポーツの研究 スポーツ推進委員協議会において、龍ヶ崎市内で新たに普及するニュースポーツの種目を考案し、スポーツ・レクリエーションまつり・ニュースポーツ体験教室で実証実験を行った。</p> <p>(2)ヘルシーボール大会の実施 令和元年11月30日(土) 会場:たつのこアリーナ 参加者数:11チーム 101名 内容:誰でも楽しめるヘルシーボールをリーグ戦・トーナメント戦の試合形式で開催</p> <p>(3)ニュースポーツ体験教室の実施 令和2年2月22日(土) 会場:たつのこアリーナ 参加者数:106名 内容:バウンドテニス、龍ヶ崎発のニュースポーツ、ヘルシーボール、ユニカール、ラダーゲッター</p> <p>(4)ウォークラリー及び各種ニュースポーツ大会の開催 ・ウォークラリー大会 開催日:5月5日(日) 会場:市役所(米町～姫宮町～上町～根町のコース) 参加者数:276名 主管:龍ヶ崎市ウォークラリー大会実行委員会 ・龍ヶ崎市レクリエーション協会加盟団体のニュースポーツ大会等開催に対し、活動助成金の補助を行う。 助成団体数:インディアカ大会、ソフトバレーボール等6団体 大会参加者数:856名</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		2,859,664	2,971,429	2,666,593	0	0
	事業費		186,680	439,118	430,367	0	0
	人件費		2,672,984	2,532,311	2,236,226	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		37	39	35	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		2,859,664	2,971,429	2,666,593	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		茨城国体、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催を好機とし、年齢・体力・性別を問わず、誰もが楽しめるニュースポーツの推進は、運動習慣の動機付けとして有効である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		龍ヶ崎市スポーツ推進委員及び龍ヶ崎市レクリエーション協会加盟のニュースポーツ団体と連携し、競技の普及に取り組むことで、各団体の活性化につながっている。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		市内スポーツ団体と連携して行っているため、民間委託等の導入は適さない。		
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
		第2次スポーツ推進計画策定時に実施した市民意識調査(H28年度実施)において、「年齢にあったスポーツの開発・普及を進める」方の割合が38.8%と高く、今後も継続して市民の誰もが楽しめるニュースポーツへの体験教室や大会を開催し機会の充実を図る。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
	12	スポーツ健幸日本一【重点目標】					
	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
	マラソン大会開催の推進						
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	オリンピックレガシーを活用し、市内外から多くの人に参加できるマラソン大会を開催します。						
関連計画等での位置付け							
活動実績及び成果	(1)マラソン大会実施に向けた運営組織の形態を検討した。 (2)専門業者(コンサルタント業者)と業務委託契約を締結し、警察署と協議しながら会場・コース・交通規制計画等を作成した。						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	4,688,559	0	0
	事業費		0	0	2,915,000	0	0
	人件費		0	0	1,773,559	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		0	0	61	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	4,688,559	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		スポーツ推進だけでなく交流人口増加を図りまちの元気につなげる取り組みとして、市が主催となり市をあげての事業として実施する必要がある。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		マラソン大会の開催は、多くの市内外からの参加が見込まれ、市民の健康増進及びまちの活性化を図る取り組みとしては有効である。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直しが必要		市内関係団体から構成する実行委員会が所管し、多くのボランティア協力を得て実施することでコスト減等の効果が期待される。		
今後の方向性	■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止 今年度は、警察署、専門業者(コンサルタント)の助言及びコース検討委員会の意見を聴取し、マラソン大会コース案を検討した。今後は、マラソン大会コースに対する警察署の内諾及び専門業者(コンサルタント)を活用し運営実施計画(警備計画含む)を検討する。合わせて、マラソン大会実行委員会を設立し、市内関連団体へ協力体制を構築する。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和元年度

戦略 目 標 施 策 事業名	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
	12	スポーツ健幸日本一【重点目標】					
	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
	旧北文間小の跡地を活用したスポーツ拠点の整備						
担当課	財政課／スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	旧北文間小の跡地を活用して、様々なスポーツニーズ等に対応するため、校舎の一部を解体・改修し、スポーツ拠点として整備を行います。						
関連計画等での位置付け							
活動実績及び成果	1. 旧北文間小学校の解体・改修 3/6 解体工事請負契約締結 履行期間R2.3.6～R2.9.1(180日間) 3/13 請負業者と解体工事の詳細打ち合わせ 2. 活用方策の検討 (1)事業内容、管理運営方法について検討を行い関係課との協議を行った。 (2)令和2年度は体育館改修費を予算計上し、校舎改修については事業内容を再検討する。 3 地域の歴史や魅力の再発見 展示資料を資料館に一時保管するとともに、展示イメージや予算案を踏まえた「旧北文間小学校展示概要書」をとりまとめた。						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	63,035,346	0	0
	事業費		0	0	55,170,000	0	0
	人件費		0	0	7,865,346	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		0	0	821	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起 債		0	0	49,300,000	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	13,735,346	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない		様々なスポーツに対するニーズ等に対応し、スポーツを通じた市民の健康づくりを推進していくには、市が主体となってスポーツ環境を整備する必要がある。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない		市内の既存施設と重複せず、地元住民を含め多くの利用が見込める施設として、事業内容を再検討する。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直しが必要		効率的な施設の運営を目指し、民間のノウハウを活かした指定管理者制度の導入を検討する。		
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止 令和2年度は先行して需要の多い体育館のみを改修し、第4期校舎については改修工事費・ランニングコスト・施設の特性・地元住民の利用等を勘案しながら事業内容を再検討していく。					

ブレイクダウンに関する進行管理シート

主要事業名【担当課】	ジュニアアスリートの育成支援	【スポーツ都市推進課】	令和元年度
------------	----------------	-------------	-------

1 主要事業の概要

目的	ジュニアアスリートを育成するための環境整備を行います。
内容	ジュニア世代の全体的なレベルアップとトップアスリートの育成に向けた事業を展開する。

2 活動実績及び成果

活動実績及び成果	<p>(1)小学生陸上記録会合同練習会【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生陸上記録会直前合同練習会【新規】(小学校5年生/6年生対象) 陸上記録会に向けた「走る・跳ぶ・投げる」といったスポーツの基本動作について学ぶ講習会をたつのこフィールドにて実施 実施日:4/22・4/26・5/8・5/10・5/13 計5回 参加者:延べ194人 <p>(2)中学生部活動コンディショニングレクチャー【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生部活動の競技力向上のため、全スポーツに共通する体幹トレーニングや呼吸法・栄養学といった指導を専門のアスレティックトレーナーを派遣することにより実施した。 実施回数:15回 愛宕中・中根台中・城西中・城ノ内中/バレーボール部 バasketボール部 剣道部他 <p>(3)スポーツ指導者養成講習会の実施(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)</p> <p>(4)技術講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通経済大学硬式野球部野球教室 日時:12月1日(日) 会場:たつのこスタジアム 対象:小中学生 参加者数:140名 ・テニス技術講習会 日時:2月29日(土) 会場:龍ヶ岡公園テニスコート 対象:小学生から成人 参加者数:26名 <p>(5)全国大会等出場者への激励金の交付件数:55件(3/15現在)うち高校生以下45件 成績優秀者表彰式:2月8日(土) 表彰対象者:3団体、高校生以下49名</p> <p>(6)スポーツ少年団等の活動支援として市総合運動公園(たつのこアリーナ等)及び学校体育施設夜間開放事業の施設使用料減免 市総合運動公園施設使用料減免件数:35件(大会開催)学校体育施設夜間開放使用料減免件数:15件</p>
----------	--

3 コスト情報

コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	5,894,078	0
事業費		0	0	2,655,406	0	0
人件費		0	0	3,238,672	0	0
市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	77	0	0
財源内訳(円)						
国支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	5,894,078	0	0

4 取組状況及び事業推進上の課題

取組状況及び事業推進上の課題	<p>スポーツの基本となる動作や競技力向上に向けた体幹トレーニング・栄養学など、ジュニア世代の全体的なレベルアップにつながる新し取り組みを実施することができた。世界で活躍するトップアスリートを目指すジュニアアスリートへの財政面での支援については課題であり、現行の激励金制度だけでなく日頃の活動を支援する新たな財政的支援制度の検討が必要である。</p>
----------------	---

ブレイクダウンに関する進行管理シート

主要事業名【担当課】	オリンピック出場(候補)選手に対する個別応援団の創設	【秘書課、企画課、スポーツ都市推進課】	令和元年度
------------	----------------------------	---------------------	-------

1 主要事業の概要

目的	本市出身の東京2020オリンピック・パラリンピック大会出場(候補)選手の応援団を創設することにより、そのトップアスリートを輩出した地域の誇りや市民のふるさと意識の醸成につなげ、地域の活性化を図る。
内容	個別応援団の創設計画案を作成する。

2 活動実績及び成果

活動実績及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・9月議会(一般質問)で、野口啓代選手をはじめとする本市出身の2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場(候補)選手応援団創設に関し、市としての基本的な考え方を示した。 ・支援事業について関係課と協議した。 具体的な支援事業 壮行会・パブリックビューイング・子どもたちの2020年オリンピック・パラリンピック東京大会応援への参画・特別奨励金等
----------	--

3 コスト情報

コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	2,313,337	0
事業費		0	0	0	0	0
人件費		0	0	2,313,337	0	0
市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	30	0	0
財源内訳(円)						
国支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	2,313,337	0	0

4 取組状況及び事業推進上の課題

取組状況及び事業推進上の課題	今後については、本市出身の2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場選手に対する具体的な応援・支援策(壮行会・パブリックビューイング・子ども達のオリンピック・パラリンピック大会応援への参画・特別奨励金等)について、秘書課が主となり・シティセールス課・スポーツ都市推進課が協議し実施に向け検討していく。
----------------	--

2 龍ヶ崎市教育委員会の事務に 関する点検評価報告書

(1) 文化・生涯学習課

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	12	事業名	郷土学習の推進
担当課	指導課／文化・生涯学習課		

実施状況	<p>撞舞に代表されるような、これまで伝統的に受け継がれてきた様々な歴史や文化に触れる体験的な学習の機会の創出に努めています。</p> <p>(1) 小学校1, 2年生 生活科 小学校1, 2年生では、生活科「わたしの町はっけん」という単元において地域について校外学習を行い、学区内における史跡や名所、公共施設等の見学に取り組んでいます。地域の自然や文化に触れる機会を通して、地域の良さに気づき、愛着をもつことができるように指導にあたっています。</p> <p>(2) 小学校3, 4年生 社会科 小学校3年生から社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を活用しながら、龍ヶ崎の土地の特徴や、産業、情勢、特色等を学ぶ地域学習を実施しています。龍ヶ崎の歴史や文化についても年間指導計画に位置付けて学習を進めています。</p> <p>(3) 龍の子人づくり学習における郷土学習の研究指定校の取組 愛宕中学校区と城南中学校区を研究指定校に指定し、調査研究に取り組みました。八坂神社祇園祭の後の清掃活動やコロケづくり、トンビ凧、和菓子作りなど地域と協力しながら取り組みました。</p> <p>(4) 市新採教員研修 令和元年7月26日(金)に「市内施設や歴史的な場所の巡回」を実施し、市内の公共施設や産業施設、文化財等を見学しました。見学場所についての事前レポートや事後報告書の作成など、地域教材作成に向けた研修となりました。</p> <p>(5) 文化財を活用した郷土学習の推進 龍ヶ崎市学校運営研究協議会との連携による「龍ヶ崎発見(フォトラリー)活動」を実施しました。ポイントとなる17の神社や寺院を設定し、夏季休業日を利用して見学し、龍ヶ崎市の良さを再発見する活動に取り組みました。 対象：市内の小学校3年生と保護者 内容：活動に参加しての感想をマイライブラリーにまとめ、市役所1階フロアで12月25日～1月10日まで展示</p> <p>(6) 第7回いばらきっ子郷土検定への参加 市内予選：市内6中学校2年生対象 11月中に各学校において実施 地元になんだ問題25問、全県的な問題25問 県大会：各市町村代表45中学校の参加 2月1日(土)県民文化センターにて実施 市内代表中学校優秀賞</p>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合が小学校61.6%、中学校42.9%で昨年度より5ポイント程度の向上が見られました。</p> <p>龍ヶ崎の歴史や文化に関しては、児童生徒及び教職員に対して地域学習に関わる学習の一層の推進に向けて引き続き指導助言にあたります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	15	事業名	部活動の活性化
担当課	教育総務課／指導課／スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) 部活動大会出場補助事業 教育活動の一環である部活動を奨励するため、市等の代表として上位大会に出場する際に要する旅費や参加費等の一部を補助しています。</p> <p>(2) スポーツ指導者派遣事業 運動部の顧問教員の知識及び技術の向上を目的とした外部指導者の積極的な活用を行っています。市体育協会の自主事業として実施し、毎年各中学校にアンケートを行い、要望があった学校へ部活動担当教員の指導補助として、指導者を派遣しました。5校へ9名の指導者を派遣しています。</p> <p>愛宕中学校 : バスケットボール 城南中学校 : 剣道 城西中学校 : 卓球・男子バスケットボール 中根台中学校 : 陸上・柔道 城ノ内中学校 : 弓道・卓球・ソフトテニス</p>
成果・課題等	<p>令和元年度は、運動部において全国大会等に出場する際、合計6,558,000円補助しています。</p> <p>スポーツ指導者バンク制度の充実に努めながら、流通経済大学や体育協会との連携により、運動部活動における外部指導者の活用を促進していきます。</p>

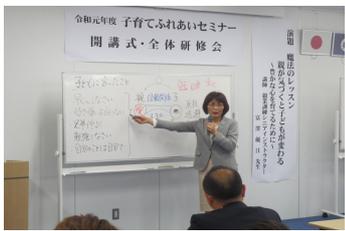
施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	24	事業名	教育の日推進事業の充実
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>実行委員会を開催し、令和元年度教育の日推進事業の事業内容などについての協議を行い、以下の事業を実施しました。</p> <p>1 作品募集 (1) 「家族へのメッセージ」 応募総数：3,541点（市内幼児教育施設・小中学校） (2) 「親子でつくる給食献立」テーマ：いばらきの旬を味わうメニュー 応募総数：小学校302点 中学校599点 優秀作品や入賞作品を市役所1階ホールや文化会館ロビーに掲示し、「親子でつくる給食献立」の入賞者には、市役所にて表彰式を行うとともに賞状授与及び図書カードの進呈を行いました。</p> <p>2 市内小中学校・幼稚園・保育園等の自由参観の実施</p> <p>3 子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業「たつのこプロジェクト」 平成30年度から市内中学校の共通テーマを「つながろう つたえよう みんなの心 みんなの笑顔 ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～」とし、3年計画のプロジェクトをスタートしました。今年度は、2年目（実践）の活動に当たり、各中学校の生徒会が中心となって多様な活動が行われました。</p> <p>4 広報活動の充実 広報紙及び市公式ホームページへの掲載、パンフレットの配布、横断幕及びのぼり旗の設置、デジタルサイネージへの掲載を行いました。</p> <p>5 「たつのこ未来トーク」の開催 11月30日（土）文化会館大ホール (1) 少年の主張茨城県大会県教育長賞受賞 城ノ内中学校 岩瀬史絵さんによる発表 (2) パネルディスカッション 「たつのこ未来トーク～地域貢献活動を通して10年後の龍ヶ崎を考える～」と題して、市内の中高生の代表が龍ヶ崎の未来について語り合いました。当日は、代表生徒31名が運営等の役割を分担して行い、事業を盛り上げました。 参加人数：約200名</p>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域が連携して「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し、教育環境の向上に努めました。</p> <p>主要事業として「たつのこ未来トーク」を開催し、学校や校種の枠を越えて市内中高生が意見を出し合い、龍ヶ崎市の一員としての考えを深めた貴重な時間となりました。</p> <p>参加者からは、「今の自分に何ができるのかを真剣に考えることができた」「地域の方々の声を実際に聞くことが出来て参考になった」や「フロアとの意見交換が活発に行われていた」と多くの反響が得られた反面、「せっかくの取り組みをもっと多くの中高生や市民にも聞いて欲しかった」という参加方法や集客についての課題が残りました。</p>



【市内中高生代表生徒】

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	41	事業名	各種セミナーの開催
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>令和元年度のテーマを「子どもの健やかな成長を願い、学びあう親たちを目指して」とし、年間を通して6回程度セミナーを開催しました。</p> <p>子育てふれあいセミナーを通じ、同じ年頃の子をもつ親の立場として、相互に交流を深めたり、情報交換をしたりするとともに、親や家庭のあり方、子どものしつけ、コミュニケーション力、食育などについての学習機会を提供しました。</p> <p>【子育てふれあいセミナーの実施】</p> <p>保護者が、子育てや家庭教育に関する悩みなどを話し合える機会や、家庭教育に関する学習環境を整える目的で、小学校低学年の子をもつ保護者を対象に、市内小学校11校で実施しました。家庭教育に関するプログラムは、各校のセミナー生が企画・運営し、年間で6回程度実施しました。子育てふれあいセミナー生：653名</p> <ol style="list-style-type: none"> 開講式：令和元年5月21日（火） 市役所附属棟1階第1会議室（保育付） 全体研修会：講師 親業シニアインストラクター 富澤 優江 先生 演題 魔法のレッスン「親が気づくと子どもが変わる」 ～子どもからのサインをキャッチ～ 給食センター見学・試食：令和元年6月～7月 給食センター第1調理場・各学校 給食が豊富な食材で調理されていることに驚きました。 学校長との懇談：令和元年6月～7月 校長先生を囲み、学校での子どもたちの様子や、校長先生の体験談、子育てで大切にしていることを聞かせていただきました。 全体研修会：令和元年7月9日（火） 市役所附属棟1階第1会議室（保育付） 講師 龍ヶ崎済生会病院産婦人科医師 陳 央仁 先生 演題 「家庭でできる“生教育” いのち…それは奇跡」 ～生きる力を育もう～ 移動交流学习：令和元年10月23日（水） 参加者79名 大洗めんたいパーク・那珂湊おさかな市場 移動の車内では、自己紹介とあわせて子育てや家庭教育で取り組んでいることを紹介し、相互に情報交換を行いました。 閉講式・全体研修会：令和2年2月14日（金） 龍ヶ崎コミュニティセンター（保育付） 講師 コミュニケーション研究家 岩崎かをり 先生 演題 子どもの人間力を育てる会話～心を動かすアプローチ～ <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【城ノ内小学校セミナー カイロプラクティック】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【開講式・全体研修会】</p> </div> </div>
成果・課題等	<p>○子育てふれあいセミナー延べ参加者数 783名（H30:730名）</p> <p>○子育てふれあいセミナーでは、同じ年頃の子をもつ保護者同士が、子育てについての不安や悩みを情報交換することで、心の安定やコミュニケーション力の向上につながったというご意見をいただくことができました。延べ参加者数は、昨年度より53名増加しました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業 No	42	事業名	相談体制の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>多様化する子育てや青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解消を図りました。</p> <p>家庭教育相談の実施</p> <p>多様化する子育てに関する悩みや、青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解決を図るため、家庭教育指導員が家庭教育相談を行いました。</p> <p>特に、義務教育や高校教育を終えて成人した子どもとの関係に悩む父親、母親からの相談が多く、ニートや引きこもり等の現代社会の課題が浮き彫りになっていると感じました。</p> <p>親子関係で悩む相談者に対して相談内容を聞き取り、悩みに対して解決策を提案できるよう相談機関を紹介したり、状況に応じて関係機関との連携を取ったりすることで、身近な相談機関としての役割を保ちながら相談業務を実施しました。</p> <p>また、青少年の生活や行動に疑問や不安をもっている保護者からの相談にも応じるため、市青少年センターの青少年相談員に代わり、相談に応じるなど体制の充実と周知に努めました。</p>
成果・課題等	<p>○家庭教育指導員による相談件数 ・電話相談件数：2件 ・面談件数：6件</p> <p>相談者の相談内容（成人した子どもの就職について、高校生の生徒指導等）に応じて、適切なアドバイスをし、心配ごとの解消に向けた相談業務を行いました。</p> <p>相談活動の成果として、定期的・継続的な相談活動を通して、相談者とのつながりを切らすことなく、もち続けることができました。また、関係機関についての情報を相談者に提供することで、より専門的な支援につなげることができました。</p> <p>学校や地域、教育委員会、福祉関係機関と連携を図りながら、子育てや家庭教育のサポートをすることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	43	事業名	基本的な生活習慣の定着
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

<p>実施状況</p>	<p>子育て中の親や家庭のあり方，子どものしつけと虐待の違いなどについて学習する機会の提供を行いました。</p> <p>1 就学時健康診断での家庭教育講話の実施 (10月～11月 翌年度，市内小学校に入学予定児童の保護者対象) 市内全小学校（11校）の就学時健康診断の際に，家庭教育指導員と社会教育主事が新入学児童の保護者を対象として，「子育てアドバイスブック・クローバー」を用いて，子育てや家庭教育についてのアドバイス，規則正しい生活習慣や自己肯定感の重要性についての説明を行いました。 また，携帯電話やスマートフォンなどのメディアとの付き合い方についても，家庭で考える使い方のルールやネット依存の危険性も含めて説明を行いました。</p> <p>2 「子育てアドバイスブック・クローバー」の配付 就学時健康診断で配付する資料等と併せて，次年度入学予定の全児童の保護者に「子育てアドバイスブック・クローバー」を配付し，家庭教育におけるポイントや，規則正しい生活習慣の啓発を行いました。</p> <div data-bbox="938 925 1422 1225" data-label="Image"> </div> <p>【馴染小学校での家庭教育講話の様子】</p>
<p>成果・課題等</p>	<p>就学時健康診断の際に，家庭教育指導員及び社会教育主事が，次年度小学校に入学予定の児童の保護者を対象として行う子育てや家庭教育についての説明は，小学校への入学を6カ月後に控えた児童とその保護者に準備を促すものとなっています。</p> <p>「子育てアドバイスブック・クローバー」は，次年度小学校に入学予定の児童530名の保護者に対して配付し，就学にあたって家庭内での規則正しい生活習慣の重要性について周知しました。</p> <p>小学校入学6カ月前と入学直後の2回，説明や資料等の配付を行うことで，家庭教育における基本的な生活習慣の定着の重要性について，保護者に対して意識付けすることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	44	事業名	教育の日推進事業の充実【再掲】
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>実行委員会を開催し、令和元年度教育の日推進事業の事業内容などについての協議を行い、以下の事業を実施しました。</p> <p>1 作品募集</p> <p>(1) 「家族へのメッセージ」 応募総数：3,541点（市内幼児教育施設・小中学校）</p> <p>(2) 「親子でつくる給食献立」テーマ：いばらきの旬を味わうメニュー 応募総数：小学校302点 中学校599点</p> <p>優秀作品や入賞作品を市役所1階ホールや文化会館ロビーに掲示し、「親子でつくる給食献立」の入賞者には、市役所にて表彰式を行うとともに賞状授与及び図書カードの進呈を行いました。</p> <p>2 市内小中学校・幼稚園・保育園等の自由参観の実施</p> <p>3 子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業「たつのこプロジェクト」 平成30年度から市内中学校の共通テーマを「つながろう つたえよう みんなの心 みんなの笑顔 ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～」とし、3年計画のプロジェクトをスタートしました。今年度は、2年目（実践）の活動に当たり、各中学校の生徒会が中心となって多様な活動が行われました。</p> <p>4 広報活動の充実 広報紙及び市公式ホームページへの掲載、パンフレットの配布、横断幕及びのぼり旗の設置、デジタルサイネージへの掲載を行いました。</p> <p>5 「たつのこ未来トーク」の開催 11月30日（土）文化会館大ホール</p> <p>(1) 少年の主張茨城県大会県教育長賞受賞 城ノ内中学校 岩瀬史絵さんによる発表</p> <p>(2) パネルディスカッション 「たつのこ未来トーク～地域貢献活動を通して10年後の龍ヶ崎を考える～」と題して、市内の中高生の代表が龍ヶ崎の未来について語り合いました。当日は、代表生徒31名が運営等の役割を分担して行い、事業を盛り上げました。 参加人数：約200名</p> <div style="text-align: right;">  <p>【市内中高生代表生徒】</p> </div>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域が連携して「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し、教育環境の向上に努めました。</p> <p>主要事業として「たつのこ未来トーク」を開催し、学校や校種の枠を越えて市内中高生が意見を出し合い、龍ヶ崎市の一員としての考えを深めた貴重な時間となりました。</p> <p>参加者からは、「今の自分に何ができるのかを真剣に考えることができた」「地域の方々の声を実際に聞くことが出来て参考になった」や「フロアとの意見交換が活発に行われていた」と多くの反響が得られた反面、「せっかくの取り組みをもっと多くの中高生や市民にも聞いて欲しかった」という参加方法や集客についての課題が残りました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	49	事業名	学童保育ルームの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>市内の全小学校の教室や専用施設において、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施し、全ての小学校で全学年を対象とした学童保育ルームの運営を目指すとともに、施設の維持管理に努めました。</p> <p>(1) 支援員及び備品の整備 加配対応児童や夏季休業期間の児童の増加に伴う支援員の配置確保、また、業務や資質向上のための研修等に参加しました。 備品等の整備については、児童数の増加に応じて適切に行いました。</p> <p>(2) 学童保育ルーム 夏季休業期間において、児童数の増加等に対応するため、児童の学習室・支援員の休憩室を学校より借用し、夏季の保育ルームの環境整備を行いました。 熱中症対策のため、全教室にエアコンを設置し、維持管理に努めました。</p>			
	令和元年度入所児童数（人）		各月1日時点の登録児童数（人）	
	学校名	4 / 1	9 / 1	3 / 1
	龍ヶ崎小学校	78	59	53
	大宮小学校	38	40	35
	八原小学校	221	192	163
	馴柴小学校	118	109	98
	川原代小学校	22	17	16
	龍ヶ崎西小学校	83	84	71
	松葉小学校	69	58	47
	長山小学校	82	74	68
	馴馬台小学校	84	64	62
	久保台小学校	101	83	70
城ノ内小学校	165	150	141	
合計	1,061	930	824	
成果・課題等	<p>○学童保育ルームの利用者数：973人(5/1時点)、利用率26%（全児童からの割合） ○学童保育ルームの待機児童数：0人</p> <p>入所児童数の増加に対応するため、夏季休業期間において余裕教室を借用し、保育ルームの環境整備を行いました。今後も利用増加が見込まれる保育ルームについては、増設も含めた対応を検討し、待機児童ゼロを維持し、保護者の就労等を支援していきます。</p> <p>一方で、支援員の募集に対する応募は、近隣市町村も同様に人手が不足している状況から、集まりにくくなっており、特に夏休み中の利用児童増加に対応した人材確保に苦慮しました。</p> <p>子育てと仕事の両立を支援する重要な事業であることから、今後も安定的な事業運営を行っていくために、次年度より保育ルームの運営と配置する支援員等の採用等の労務管理や保育ルームの運営を業務委託することとし、効率的で安定的なサービスの提供を行っていきます。</p>			

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	50	事業名	アフタースクール・サタデースクールの充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>第3学年から第6学年までに対象学年を絞り、民間事業者のノウハウを生かすことで、児童の自主性・社会性を育むプログラムを通して、充実したスクール運営を行いました。</p> <p>○アフタースクール【龍ヶ崎・大宮・川原代・龍ヶ崎西・松葉・長山・馴馬台・久保台】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活動内容：自主学習/ひらがな16・漢字パズル・暦クイズ・百マス計算等 体験学習/サッカー教室・のぞき箱作り・駒作り・食べ物クイズ等 2 延べ人数：1,613名 3 実施回数：14～16回 <p>○サタデースクール【八原・馴柴・城ノ内】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活動内容：自主学習/百マス計算・ゲーム形式学習・ひらがなパズル・星座クイズ 漢字部首パズル・漢字クロスワードパズル・都道府県クイズ 体験学習/ライダー・フライングディスク・落語教室・変わり絵 ソックススノーマン・メッセージカード作り・毛糸帽子 駒作り・のぞき箱作り・マスクケース作り・縄跳び教室 サッカー教室・門松工作・ヒップホップダンス教室等 2 延べ人数：1,514名 3 実施回数：16～17回 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【アフタースクール】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【サタデースクール】</p> </div> </div>
成果・課題等	<p>○アフタースクール 昨年の活動内容をさらに充実させるため、プリント学習や宿題等だけでなく、一問一答のクイズ形式の問題を多数取り入れることで、テンポよく学習に取り組む児童が増えました。また、季節ごとに短時間でできる簡単な工作を取り入れたり、サッカー教室やパネルシアター等を新たに取り入れたりすることで、多様な体験活動の機会を提供することができました。</p> <p>○サタデースクール 普段経験することのないような活動ができ、参加児童の多くがサタデースクールを楽しみにしており、人気の高い事業となっています。一方で、参加児童の中に、特別な支援を要する児童が各校に数名ずつおり、専門的な知識をもつスタッフによる支援が望まれます。学校と学童保育ルームの間で情報を共有するなど、連携を図っていきます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	51	事業名	青少年センターの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>青少年関係団体による市内巡回指導、街頭あいさつ・声かけキャンペーン等、積極的に地域において、青少年の健全育成を推進すると同時に青少年の非行防止と、犯罪に巻き込まれないための指導に努めました。</p> <p>1 定期的な巡回指導及び設置事業者への指導 茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づき、青少年に有害な図書等の一掃を図るため、定期的な巡回指導を行いました。</p> <p>2 違法屋外広告物の巡視 青少年のための健全な環境づくりを目指し、青少年相談員による市内全域を対象とした違法屋外広告物（貼りビラ・捨て看板）の巡視を実施しました。 【令和元年実績】 撤去：0件</p> <p>3 青少年の健全育成に協力する店との連携 市内の『青少年の健全育成に協力する店』に現在登録されている94店舗を訪問し、「青少年にふさわしくない行動を発見した場合はただちに注意するほか、青少年センター（文化・生涯学習課）又は警察に連絡するなどして、青少年の健全育成に協力する。」ことを依頼し、啓発チラシの配付やステッカーの貼付を依頼しました。 【令和元年度実績】 青少年の健全育成に協力する店の登録率：100%</p> <p>4 あいさつ・声かけ運動 市青少年センター及び青少年育成龍ヶ崎市民会議、保護司会などの関係機関・団体と連携して、7月及び11月に「あいさつ・声かけ運動」キャンペーンを市内3ショッピングセンター及び市内小学校11校で実施し、青少年の健全育成及び問題行動等の抑止に努めました。</p>  <p>【ヤオコー竜ヶ崎店】 【令和元年度実績】 7月 小学校11校71名、ショッピングセンター74名 11月 小学校11校59名、ショッピングセンター58名</p> <p>5 市内巡回パトロール及び街頭指導 青少年相談員39名（うち教員籍21名） 毎月2回（2班編成：A班15:00～17:00 B班17:00～19:00）学校周辺、大型店舗、ゲームセンター、レンタルビデオ店、カラオケ店、駅周辺、公園等をパトロール車にて巡回し、青少年に声掛けを行う等、街頭指導を実施しました。 【令和元年度実績】 回数：18回／延べ人数：108名</p>
	成果・課題等

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	52	事業名	子どもの交流・活動拠点の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>たつのこやま周辺などを子ども達の「遊びの拠点」と位置付け、心身の発育発達や自主性・創造性などを身につけてもらう場を創出しました。</p> <p>また、子ども達が安全に、かつ、既製の遊具や遊びのプランの選択肢にとらわれることなく、自分たちのアイデアとスタイルで楽しみ、発見や創造する喜びを味わえる場を創造しました。</p> <p>(1) たつのこやま管理棟内における「子どもの居場所づくり事業」 施設来館者数：16,092人 NPO法人テディ・ベア（土・日曜日 10:00～16:00） たつの子山囲碁クラブ（月曜日 13:00～16:30） 龍ヶ崎市女性会（木曜日 14:00～16:30）</p> <p>(2) たつのこプレーパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第14回たつのこ遊んじゃ王」：令和元年7月13日（土）実施 子ども48名，大人30名参加 ・「第15回たつのこ遊んじゃ王」：令和2年3月14日（土） <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環により開催中止</p> <div style="text-align: center;">  <p>【たつのこプレーパーク・たつのこ遊んじゃ王】</p> </div>
成果・課題等	<p>○たつのこやま管理棟での居場所づくり事業については、配置人数を調整することで効率化を図りつつ、利用する子どもたちを安全に見守っていくことができました。</p> <p>○たつのこプレーパークは、事業として複数の課題を抱えていることから、事業開始から5年の経過を節目とし、市主催でのイベント実施を廃止することになりました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	53	事業名	子ども会活動の活性化
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>子ども会活動を通じて、子どもたちの社会性や自主性を育み、未来を担う心豊かでたくましい子ども達を育成するために、以下の事業を実施しました。</p> <p>1 安全教育研修会 日時：令和元年6月9日（日） 場所：龍ヶ崎消防署 内容：龍ヶ崎消防署による「救命入門コース」の受講 AED（自動体外式除細動器）の使用法、胸骨圧迫法 参加人数：大人7名 小学生3名 合計10名</p> <p>2 チャレンジキャンプ 日時：令和元年6月22日（土）・23日（日） ※雨天中止 場所：龍ヶ崎市森林公園</p> <p>3 作文教室 日時：令和元年8月8日（木）※参加者なしのため中止</p> <p>4 研修視察 日時：令和元年8月20日（火） 場所：アサヒビール工場（守谷市） JAXA 筑波宇宙センター（つくば市） 参加人数：14名</p> <p>5 球技大会（野球） 日時：令和元年8月24日（土） 場所：たつのこスタジアム 参加者：2チーム（龍の子少年野球倶楽部・下妻リトル大和）</p> <p>6 館林市親善野球大会 日時：令和元年10月19日（土） 場所：たつのこスタジアム たつのこアリーナ（サブアリーナ・多目的室） 参加者：2チーム（龍の子少年野球倶楽部・館林市七小区子ども会）</p> <p>7 球技大会（ミニバス） 日時：令和元年12月7日（土） 場所：たつのこアリーナ 参加者：大宮小ミニバス・市内外8チームによるトーナメント</p> <p>8 その他：第47回作文集の作成・広報誌第25号の刊行</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【館林市との親善野球大会】 【研修視察】</p>		
成果・課題等	<p>○令和元年度市子ども会育成連合会の児童の加入者：1,146名（令和2年1月末現在） チャレンジキャンプは、2年続けて雨天に見舞われましたが、前年度の反省を踏まえて、事前に中止や実施の場合の連絡系統を確認しておいたため、混乱はありませんでした。 市子連への加入単子や加入児童が年々減少しており、市子連としての活動内容や活性化に課題が残っています。少人数でも単子の活発な活動が継続されている現状も評価しつつ、今後の活動の在り方について、関係団体と検討を進める必要があります。</p>		

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	55	事業名	新成人の交流促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>成人者にとって思い出に残るような式典とするため、市内の中学校6校ごとに新成人の代表による「成人式運営委員会」を組織して、成人式の企画・運営を行い、成人式を実施しました。</p> <p>成人式典の開催</p> <p>本市の成人式典の特徴は「新成人による企画運営」、「中学校区別での分散型」です。市内中学校6校からそれぞれ推薦された男女各9人から12人が「成人式運営委員」となり、計2回の会議を行い、式典当日の担当、アトラクション内容等の打ち合わせを行いました。</p> <p>式典は2部構成で開催され、第1部は来賓祝辞や成人者代表による抱負発表といったトラディショナルな形式に則った式典であり、厳かにかつ粛々と進められました。</p> <p>第2部はアトラクションとしてビンゴゲームなどが行われ、伸びやかで華やいだ雰囲気となり、若者らしさにあふれ朗らかな光景となりました。</p> <p>中学校を会場としているため、顔見知りが多く、各会場とも和やかな成人式典でした。成人者の参加率は、75.0%と平成30年度より1.8ポイント減少しました。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【長山中学校成人式典】</p> </div> <p>令和元年度 成人者及び成人式典出席者数 (令和2年1月12日集計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 校 名</th> <th colspan="3">成人者数 (人)</th> <th colspan="3">式典出席者数 (人)</th> <th rowspan="2">出席率 (%)</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛宕中学校</td> <td>42</td> <td>56</td> <td>98</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>85</td> <td>86.7</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>99</td> <td>55</td> <td>154</td> <td>48</td> <td>32</td> <td>80</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>長山中学校</td> <td>49</td> <td>44</td> <td>93</td> <td>52</td> <td>28</td> <td>80</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>城西中学校</td> <td>80</td> <td>69</td> <td>149</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>108</td> <td>72.5</td> </tr> <tr> <td>中根台中学校</td> <td>72</td> <td>70</td> <td>142</td> <td>66</td> <td>60</td> <td>126</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>城ノ内中学校</td> <td>137</td> <td>135</td> <td>272</td> <td>95</td> <td>107</td> <td>202</td> <td>74.3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>479</td> <td>429</td> <td>908</td> <td>356</td> <td>325</td> <td>681</td> <td>75.0</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)	男	女	計	男	女	計	愛宕中学校	42	56	98	39	46	85	86.7	城南中学校	99	55	154	48	32	80	51.9	長山中学校	49	44	93	52	28	80	86.0	城西中学校	80	69	149	56	52	108	72.5	中根台中学校	72	70	142	66	60	126	88.7	城ノ内中学校	137	135	272	95	107	202	74.3	合 計	479	429	908	356	325	681	75.0
学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)																																																																
	男	女	計	男	女	計																																																																	
愛宕中学校	42	56	98	39	46	85	86.7																																																																
城南中学校	99	55	154	48	32	80	51.9																																																																
長山中学校	49	44	93	52	28	80	86.0																																																																
城西中学校	80	69	149	56	52	108	72.5																																																																
中根台中学校	72	70	142	66	60	126	88.7																																																																
城ノ内中学校	137	135	272	95	107	202	74.3																																																																
合 計	479	429	908	356	325	681	75.0																																																																
成果・課題等	<p>成人式への出席率は前年度より1.8ポイント低下の75.0パーセントですが、比較的高く推移しています。</p> <p>民法の改正によって令和4(2022)年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることに伴い、これまで実施してきた成人式の見直しを行い、令和5(2023)年1月からは、式典の対象者は20歳のままとし、各中学校を会場とする分散開催方式から、文化会館等を利用する集合開催方式に改めることとしました。</p>																																																																						

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	56	事業名	中央図書館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>指定管理を通じた継続事業，新規事業の展開</p> <p>1 新規事業の実施</p> <p>(1) 主な新規事業</p> <p>①初級おはなし講習会「子どもの心を育てる絵本」 日時：7/6（土） 講師：藤井いずみさん（昔ばなし大学講師・茨城県生涯学習情報提供システム登録講師） 36人参加</p> <p>②親子で学ぶプログラミング教室 日時：7/25（木），8/10（土） 18人参加</p> <p style="text-align: center;">プログラミング教室の様子</p>  <p>③終戦記念日特別企画「平和について考える」 市生涯学習人材バンクより講師（白浜真砂子さん）を迎え，戦争体験を聞く会を開催しました。 日時：8/15（木） 15人参加</p> <p>④福ブックの貸出 年始におすすめ本とプレゼントをセットにした福袋50セットを貸し出しました。</p> <p>2 毎年度継続して実施する事業の充実</p> <p>(1) 主な事業</p> <p>①文化講演会 市読書会連合会と連携し，令和2年2月16日（日）に龍ヶ崎市文化会館小ホールを会場として，ビジネスコンサルタント・細谷功さんの講演会を開催しました。（参加者100名）</p> <p>②ボランティア研修の充実 福音館書店，農文協書店，東京子ども図書館から外部講師を積極的に招いて，ボランティアに役立つ研修会や講演会を開催しました。（11回 参加者 延べ159名）</p>
成果・課題等	<p>○中央図書館の延べ入館者数 161,117人</p> <p>○中央図書館の利用者満足度 83.6%（アンケート7項目の平均）</p> <p>○電子図書館の延べ貸出件数 2,277点</p> <p>赤ちゃんからシニアまで幅広い年代層を対象に，また，図書館内に限らず学校等外部に出向いて図書館利用促進・読書活動推進を行いました，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，3/10からイベントを中止し，館内利用を制限したため，入館者数は減少しました。その一方，電子図書館の貸出が増加しており，2月頃より外出自粛が呼びかけられた影響によるものと思われます。</p> <p>また，利用者満足度は，「施設・設備」及び「資料の質・種類」の項目で満足と答えた回答が減り，昨年度と比較して1.3ポイント低下しました。自由記述欄の意見では，依然として職員対応の評価が高い一方で，施設・蔵書など図書館規模の拡張を期待する声やカフェスペース設置を希望する声が多くありました。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	57	事業名	読書・学習環境の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 中央図書館の施設整備</p> <p>(1) エレベーター更新及び1階和室改修</p> <p>①工事期間 R元年10月25日～R2年3月31日</p> <p>②工事内容 エレベーター更新：予防保全のため、既存のエレベーターを更新しました。</p> <p>1階和室改修：1階和室をフロア化し、新たに隣席との間に間仕切りを設け、個のスペース確保をした閲覧机4つと椅子16脚を新たに配置して充実した学習スペースを創出しました。</p> <p>(2) 防水改修</p> <p>①工事期間 R2年2月4日～R2年6月30日</p> <p>②工事内容 1階及び2階の屋上防水改修</p> <p>2 中央図書館資料の充実（指定管理者による）</p> <p>(1) 図書館資料の購入</p> <p>・図書館資料購入・受入 図書8,232冊、雑誌125誌、新聞16紙、電子資料1,070点、ほか197点の視聴覚資料を購入しました。</p> <p>3 中央図書館職員の研修（指定管理者による）</p> <p>他自治体の図書館への視察、茨城県立図書館が主催する研修会、自社研修など30回、延べ78名のスタッフが参加し、図書館員としての技能・知識の向上を図りました。</p>
成果・課題等	<p>利用の少ない1階和室をフロア化し、新たに閲覧机と椅子を配置することで、利用しやすい学習環境を提供することができました。閲覧机は、隣席と前席の間にアクリル板で仕切りを設けることで、周囲に気兼ねなく利用することができるようになりました。</p> <p>また、図書館資料は、児童の新刊図書の購入を進めたほか、特に劣化が見られる子どもたちに人気の読み物を買替えるなど量・質ともに資料の充実に努めましたが、館内の書架は棚の余裕がない状態であるため、購入する同数程度の資料を廃棄することが数年続いており、閉架書庫など資料を保管するスペースの確保が課題となっています。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	58	事業名	子どもの読書活動の推進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 子ども読書活動推進計画（第三次）の進行管理 平成30年3月に策定した第三次計画について、各担当課において施策の実施を進めました。また、計画の進捗管理を行うために、7月に龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会の会議を開催しました。※3月に予定していた第2回委員会会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>2 中央図書館における計画の実施</p> <p>(1) おはなし会の継続実施（実施期間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 18回/年、延べ189人参加 ・こぐまちゃんのおはなし会 10回/年、延べ275人参加 ・たつの子お話タイム 7回/年、延べ49人参加 ・おはなし会ボランティア研修の実施 3回/年 30人参加 <p>(2) ブックスタート事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本2冊とエコバック配布 22回/年、376人参加 ・新規でブックスタートボランティアを公募して、初心者研修を実施するとともに、継続ボランティアのスキルアップ研修を実施 1回/年、12人参加 <p>(3) 小学校・保育ルーム・つぼみ園への出前講座 城ノ内小学校1～3年の各クラス及び出前の希望があった9ルーム、つぼみ園へ、読み聞かせや素話、ブックトークを行いました。※春休みに予定していた1ルームへの出前講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(4) 【新規】親子で学ぶプログラミング講座 2回/年、延べ18人参加 子ども向けの無料ビジュアルプログラミング言語（Scratch）を使って、親子でゲームを制作しました。</p> <p>(5) 【新規】福ブック 1回/年 図書館司書と職場体験に来た中学生が選んだおすすめの本3冊とプレゼントを福袋にして年始めに貸し出しました。（一般向け20セット、中高生向け10セット、小学生向け10セット、幼児向け10セット、合計50セット）</p>
成果・課題等	<p>○幼児（0～5歳）一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数 19.6冊</p> <p>○図書館の子ども向けイベント講座・イベントの延べ参加者数 1,852人</p> <p>市子ども読書活動推進計画（第三次）は、計画期間を平成29年度から平成33年度までとして、第二次推進計画の内容を修正した16施策、第二次推進計画を引き継ぐ14施策、新規に5施策を加え、合わせて35施策を進行中です。</p> <p>今後、第四次計画策定に向けて、子どもたちの読書状況を把握するためのアンケートを実施するなど、計画を見直すための根拠資料等の準備が必要となります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3/10からイベントを中止し、館内利用を制限したため、幼児（0～5歳）一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数、子ども向けイベント講座・イベントの延べ参加者数とも減少しました。</p> <p>また、プロポーザルにより次期指定管理者（指定期間：令和2年度～令和6年度）として、現在の指定管理者が継続して指定を受けました。今までに培った管理運営の経験に基づいて、更に事業が展開されることが期待されます。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	59	事業名	流通経済大学の図書館との連携強化
担当課	企画課／文化・生涯学習課		

<p>実施状況</p>	<p>平成18年度より、流通経済大学の図書館は、20歳以上の市民（市在勤者を含む）も利用可能となり、専門的な資料の収集や知識の習得に利用されています。</p> <p>令和元年度は、知識の宝庫である同大学の図書館について、さらなる利用促進のため、市公式ホームページやSNS（ツイッター・フェイスブック）により周知を図りました。</p> <p>また、同大学図書館の蔵書を活用した企画展開催の検討や、同大学図書館でのラグビーワールドカップ2019日本大会で日本代表選手として活躍した流通経済大学ラグビー部出身の中島イシレリ選手（神戸製鋼コベルコスティーラーズ所属）の写真、ユニフォーム等の展示など、本の貸し出しだけでなく多彩な連携に取り組んでいます。</p> <p>流通経済大学図書館でのラグビーワールドカップ展</p> 
<p>成果・課題等</p>	<p>20歳以上の市民（在勤者を含む）であれば、流通経済大学龍ヶ崎図書館が利用可能であることについて、あまり知られていないため、利用対象者の拡充に向けて、今後も引き続き、大学との連携を強化し、市公式ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）による周知を強化する等、認知度向上を図るとともに、大学が持つ専門的な資料の有効活用を促進します。</p> <p>令和元年度流通経済大学図書館市民登録者（利用者）数15人（対前年度比△6人）</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	60	事業名	人材バンクの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 人材バンク登録講師一覧の広報掲載 郵送により登録内容の確認を登録講師に依頼し、最新データを反映した「人材バンク登録講師一覧」を作成して、令和2年3月後半号の市広報紙で紹介しました。 広報紙では、紹介可能な分野の一覧を掲載するに留め、詳細な講師名・指導分野・講師の所属・資格をHPで紹介しています。</p> <p>2 人材バンクの紹介実績 13件（H30年度 17件／H29年度 33件）</p> <p>3 人材バンク講師の募集 市HP、広報紙で登録を募集し、3名が新たに講師登録をしました。 ・新規登録講師の指導内容 1 幼児の基礎能力育成 2 自力整体 3 子ども図工教室</p>
成果・課題等	<p>○人材バンクを活用した生涯学習講座・教室開催数→0講座・教室</p> <p>今年度は、当課による人材バンクを活用した生涯学習講座・教室の開催はありませんでしたが、中央図書館が企画する事業に合わせて2名の人材バンク講師を紹介し、それぞれイベントが開催されました。 また、2月に各講師へ登録内容の確認依頼を行い、市HPの紹介記事を最新のものとしました。 一方、年々問い合わせ件数が減少している背景には、セキュリティ意識が高い社会の中で、面識のない依頼者と講師が電話だけで講座実施に至るのは難しいことがあり、制度運用の在り方について検討が必要となっています。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	62	事業名	生涯学習講座等の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>コミュニティセンターや図書館、歴史民俗資料館などで行われている生涯学習事業のメニューを市民に紹介し、市民の教室・講座等への参加機会の拡大に努めるとともに、文化・生涯学習課の主催や招請による各種講座・教室を実施しました。</p> <p>1 生涯学習プログラムの情報提供 生涯学習関連の教室・講座などの情報を生涯学習推進プログラム（198項目）としてとりまとめて市HPへ掲載し、広報紙で紹介を行って様々な学習機会を提供しました。</p> <p>2 生涯学習講座・教室の開催</p> <p>(1) シニア向けスマートフォン講座 概ね55歳以上の市民を対象に、初めてスマホを使う方からLINEの使い方まで、操作レベルの異なる内容で参加者を公募し、講座を行いました。 ①日時：8/26（月） 10:00～12:00、市役所附属棟 参加者：14名 ②日時：8/26（月） 14:00～16:00、市役所附属棟 参加者：13名 ③日時：11/7（木） 10:00～12:30、八原コミュニティセンター 参加者：17名 講師：（株）アドバンス</p> <p>(2) 50歳以上の方とシニアのための就職セミナー 日時：11/6（水） 10:00～12:00、14:00～16:00 市役所附属棟 参加者：28名 講師：いばらき就職活動支援センター 県南センター キャリアカウンセラー</p> <p>(3) 「リボン・アートボール龍ヶ崎2020」 茨城県のオリンピック・パラリンピック文化プログラムの1つであるリボン・アートボール（廃棄するボールに絵を描いたりペイントを施すことで芸術作品に生まれ変わる）を開催しました。市内小中学校や子ども会から廃棄ボールの提供を受け、参加者を公募してワークショップと参加者が制作した作品の展示を行いました。 日時：ワークショップ 1/26（日） 第1部 10:00～ 第2部 15:00～ 作品展示 1/26（日）～2/2（日） 場所：文化会館 参加者 44名 講師：太田圭さん（筑波大学芸術系教授、リボン・アートボール提唱者）</p> <div style="text-align: right;">  <p>作品展示見学の様子</p> </div>
成果・課題等	<p>○市が主催する市民大学講座（生涯学習講座）の開催数 5回</p> <p>生涯学習推進プログラムにより、市が実施する講座情報を一括して情報提供し、市民が講座を選択する際の利便性の向上を図りました。</p> <p>今年度は、シニア向けの生活向上に向けた講座を多く開催しましたが、参加者のアンケートからは、スマホキャッシュレスの使い方や病後も元気で働くためのノウハウが知りたいなど、実生活に役立つ具体的なテーマで生涯学習事業を行う必要性が伺えました。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピック開催の年である2020年当初にリボン・アートボールを開催し、身近な場所で参加しやすい文化プログラムを提供することができました。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	64	事業名	出前講座の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 出前講座の実施状況 利用（開催）実績は55件で、昨年度から29%減でした。 (H27年度65件, H28年度93件, H29年度99件, H30年度77件)</p> <p>2 開催数上位の課等の表彰 前年度実績で開催数上位のメニューを所管している課等を市長が表彰する予定です。</p> <p>●令和元年度表彰予定講座</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>講座名</th> <th>担当課名</th> <th>開催数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2-9 介護予防について</td> <td>健幸長寿課</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2-13 認知症サポーター養成講座</td> <td>健幸長寿課</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8-1 防災対策について</td> <td>危機管理課</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>				順位	講座名	担当課名	開催数	1	2-9 介護予防について	健幸長寿課	12	1	2-13 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	12	2	8-1 防災対策について	危機管理課	10
	順位	講座名	担当課名	開催数																
	1	2-9 介護予防について	健幸長寿課	12																
1	2-13 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	12																	
2	8-1 防災対策について	危機管理課	10																	
<p>○出前講座の利用件数→55件</p> <p>申込件数が多いものは、継続して介護関係及び防災関係の講座であり、市民の関心の高さが伺われます。</p> <p>全体の件数は前年度から減少していますが、出前講座としてではなく、担当課に直接説明や講座を申し込んでいるケースもあり、市民への「出前講座」周知に努めるとともに、実施する課の負担を軽減するために、申込や報告方法等について、簡略化する方向で検討する必要があります。</p>																				
成果・課題等																				

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人権教育・啓発の推進		
事業No	65	事業名	人権啓発活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>人権週間を含む12月の15日間に、人権意識の高揚を図るため、市役所1階玄関ホールにおいて人権啓発ポスターのパネル展を開催しました。</p> <p>来庁した方が、忙しい合間に足を止めるだけでも容易に展示の主旨を理解してもらえるよう、今年度は、様々な人権問題をテーマ毎に1枚ずつまんがで表現したまんがパネルの展示を行いました。</p> <p>○期間：人権週間12月3日（火）～17日（火）</p> <p>○場所：市役所1階 玄関ホール</p> <p>○展示：公益財団法人 人権教育啓発推進センターから借用した人権啓発ポスター「人権まんがパネル」21点を展示</p> <p>○広報：市広報紙に掲載したほか、ポスター・チラシを作成して市内中学校生徒全員へチラシを配布したほか、コミュニティセンター等公共施設と小学校へのポスターの掲示依頼をしました。</p> <div data-bbox="507 936 1252 1348" data-label="Image"> </div> <p>▲展示会場の様子</p>
成果・課題等	<p>○人権週間に合わせた啓発活動数 1回</p> <p>人権教育啓発推進センターから借り受けたパネルは、児童虐待やプライバシーの侵害など21件の人権問題が分かりやすくまんがで描かれており、また、今年度は人権週間終了後、1週間延長して長期に展示を行ったことにより、年末に来庁する市民等に問題提起を行う効果があったと推察されます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	68	事業名	地域文化活動の育成及び支援
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 市民団体との共催事業</p> <p>①バンドやろうよ講習会【8/3, 8/4, 8/12, 8/18, 8/25, 4人】 ②合唱やろうよ講習会【8～11月(全8回), 34人】 ③伝統芸能講習会(盆踊り講習会)【8/12, 73人】 ④龍ぼん祭2019【8/17, 3,500人】 ⑤体験学習教室「はじめての盆栽と山野草」【9/22, 20人】 ⑥癒し&くつろぎ&ミニコンサート【9/23, 210人 2/11, 167人】 ⑦お茶会&お琴演奏会【10/13, 120人】 ⑧ふれ愛広場2019【10/20, 60人】 ⑨第28回龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル【10/30～11/24, 21,866人】 ⑩創造展ワークショップ【1/25, 44人】※1/26～2/2までロビーで作品展示 <未実施の事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎市文化の祭典 <ul style="list-style-type: none"> … 毎年5月開催だが、平成30年度からの継続事業で9月途中まで大ホール改修工事を実施していたため見送り ・第11回高齢者いきいき健康マーじゃん交流大会 <ul style="list-style-type: none"> … 3/8開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">▲市民文化芸術フェスティバル(左:作品展示/右:ステージ発表)</p> <p>2 その他地域文化活動の支援事業</p> <p>①文化協会加盟団体事業支援(施設の優先貸出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季盆栽展【5/31～6/2】 ・竜ヶ崎子どもミュージカル第15回公演【10/27】 <p>②美術館見学会(茨城県天心記念五浦美術館)【5/31, 40人】</p>
成果・課題等	<p>●令和元年度市民文化芸術フェスティバル延べ来場者数 …21,866人 (対前年度比△127人)</p> <p>毎年秋の恒例行事として開催されている市民文化芸術フェスティバルも28回目を迎えました。 期間中は延べ20,000人以上の来場者が訪れる一大イベントですが、今後は近隣市町村の文化団体との連携により、市町村の垣根を越えて作品の相互出展を検討するなど、更なる活性化を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	69	事業名	文化会館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 文化会館設備の更新等（文化・生涯学習課執行分）</p> <p>①大ホール天井改修工事（平成30年度からの継続事業） 【事業費】99,792,000円 【完了日】令和元年9月26日 【概要】 大ホールの非構造部材天井を撤去し、幕天井とする耐震化工事を実施しました。</p> <p>②大ホール照明LED化工事（平成30年度からの継続事業） 【事業費】31,968,000円 【完了日】令和元年9月26日 【概要】 大ホールの客席・非常照明設備のLED化工事を実施しました。</p> <p>2 社会教育施設長寿命化計画（個別施設計画）の策定着手</p> <p>文化会館は竣工から30年以上が経過しており、これまでも老朽化した設備の修繕等を適宜実施してきたところですが、大規模施設であることから、改修や建て替えには多くの費用が必要となります。そこで、優先度を見極めながら適切なタイミングで効率的に改修等を実施し、安全かつ、より長期的に施設を利用できるようにするため、歴史民俗資料館・中央図書館を含めた3施設を対象とした「社会教育施設長寿命化計画（個別施設計画）」の策定に着手しました。（令和2年度中に完成予定）</p>
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度文化会館施設の延べ利用者数 …94,658人（対前年度比△34,021人） ●令和元年度文化会館大ホール稼働率 …32%（対前年度比△16%） ●令和元年度文化会館の利用者の満足度※ …98.9%（対前年度比+1.2%） <p>※来館者アンケート「文化芸術に慣れ親しむ施設としての満足度」の設問で「満足」「やや満足」と回答した方の割合の合計</p> <p>延べ利用者数や大ホール稼働率は前年度より低下していますが、これは平成31年1月から着工し、令和元年9月半ばまで実施していた改修工事（後述）により、当該期間中は大ホールが利用できなかったことに加え、年度末に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見合わせた事業が多かったことが要因と考えられます。</p> <p>大規模震災等の発生を見越して安心・安全に施設を利用できるよう、大ホール天井非構造部材の耐震化工事を実施するとともに、環境に配慮した照明のLED化工事を実施しました。</p> <p>令和2年度中に策定予定の長寿命化計画に基づき、今後も適切な時期に修繕・改修等を行い、現在の施設を安心して長く利用できるよう維持管理に努めます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	70	事業名	鑑賞・招聘型文化活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 鑑賞・招聘型事業</p> <p>①なつかしの名画鑑賞会 Part 1「日本一の若大将」【6/9, 50人】※2回上映 ②なつかしの名画鑑賞会 Part 2「ニッポン無責任時代」【6/16, 45人】※2回上映 ③アウトリーチ事業 芸術鑑賞会「地元アーティストによるコンサート」【6/21】 …長山中学校に出向き、生徒及び保護者に対しプロの演奏を鑑賞する機会を提供 ④夏休み映画会「ドラえもん のび太の月面探査記」【8/9, 8/10, 8/11, 1,846人】 ⑤リニューアルオープン記念「吉幾三コンサート」【10/6, 1,335人】※2回公演 ⑥ぬいぐるみミュージカル「ジャックと豆の木」【12/1, 863人】※2回公演 ⑦ロシア民族音楽アンサンブル「テレム・カルテッド」【12/8, 883人】 ⑧第九演奏会 2019【12/15, 1,106人】 ⑨フレンド会特別事業 映画「アルキメデスの大戦」【1/26, 415人】※2回上映 ⑩三山ひろし 笑顔を届けますコンサート 2020【2/23, 1,054人】 ⑪名作映画会「記憶にございません！」【2/24, 513人】※2回上映</p> <p><予定を変更した事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・BS日本のうた【3/19】 …新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客で収録（4/12放送） ・山崎まさよしコンサートツアー 2020【当初3/1開催予定】 …新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3/30に延期したが、収束の見通しが立たないため次年度（6/30）に再延期。 ・島津亜矢コンサートツアー 2020【当初3/14開催予定】 …新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度（7/29）に延期。
成果・課題等	<p>子どもから年配の方まで、幅広い年齢層をターゲットとした映画の上映を行ったほか、初めての試みとしてアウトリーチ事業（出張演奏会）を開催し、中学生に本市出身のプロ演奏者による演奏を鑑賞する機会を提供しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら開催が先送りとなった事業もありましたが、今後も音楽・映画・劇など様々なジャンルの事業を企画・開催し、市民が質の高い文化・芸術に触れ、楽しめる機会の創出を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	71	事業名	文化財の指定及び保護
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 「龍ヶ崎の文化財」マップ（改訂版）の発行 【発行日】令和2年3月31日 【発行部数】3,000部 【概要】 平成29年3月に作成した「龍ヶ崎の文化財」マップを3年振りに改訂し、国登録有形文化財や新たに認定された市民遺産などの情報を追加した最新版のマップを発行しました。</p> <p>2 文化財等説明板の製作・設置 【事業費】1,529,000円 【完了日】令和2年3月18日 【概要】 茨城県指定文化財や、新たに認定された市民遺産の説明板（計3基）を製作・設置しました。</p> <p>①龍ヶ崎のシダレザクラ（県指定文化財 …根町／般若院境内）※作り替え ②女化神社 親子狐の石像（市民遺産 …馴馬町／女化神社境内） ③旧竹内農場赤レンガ西洋館（市民遺産 …若柴町）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲「龍ヶ崎の文化財」マップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲説明板（龍ヶ崎のシダレザクラ）</p> </div> </div>
成果・課題等	<p>●市指定文化財の指定数（令和2年3月末現在）…19件</p> <p>令和元年度における新規指定文化財の指定はありませんでしたが、改訂版文化財マップの発行や説明板の設置により、当市の貴重な文化財の周知啓発を図りました。</p> <p>引き続き、新たな指定文化財候補物件の掘り起こしや既存の指定文化財の保存に努めるとともに、文化財保護意識の醸成を図るための事業を展開していきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	72	事業名	市民遺産の認定
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 龍ヶ崎市民遺産の新規認定 文化財保護審議会への諮問・答申を経て、令和2年1月22日開催の教育委員会定例会において、新たに1件の龍ヶ崎市民遺産が認定されました。 【認定物件】旧竹内農場赤レンガ西洋館及び竹内家文書（龍ヶ崎市民遺産第13号） 【所在地】若柴町 【所有者等】龍ヶ崎市</p> <p>2 旧竹内農場赤レンガ西洋館整備事業の実施 一連の調査が終了し、市民遺産にも認定された赤レンガ西洋館を希望者がいつでも自由に見学できるよう、敷地内の整備事業を実施しました。</p> <p>①樹木の伐採・剪定 【事業費】876,600円 【概要】建物保護のため、外壁に隣接する樹木の伐採（計13本）及び剪定（1本）を実施</p> <p>②フェンスの設置 【事業費】4,497,900円 【概要】見学者の安全確保のため、建物周囲にフェンス（高さ約1.8m、延長約100m）を設置</p> <p>③駐車スペースの整備 【事業費】262,592円 ※砕石購入費 【概要】見学者及び施設管理関係車両のため、砕石敷きの駐車スペース（3台分）を整備（敷均し作業については、市道路整備課施設管理事務所が実施）</p> <p>④説明板の設置 → 事業No.71「文化財の指定及び保護」参照</p> <div style="text-align: center;">  <p>▲旧竹内農場赤レンガ西洋館</p> </div>
成果・課題等	<p>●市民遺産の認定数（令和2年3月末現在）…13件</p> <p>平成27年4月の市民遺産認定制度開始から5年経過しましたが、毎年新たな物件が認定を受けており、累計で13件となりました。 今後も市民遺産への認定を通して、後世に継承していきたい身近な“お宝”にスポットを当て、シビックプライドの醸成や、龍ヶ崎の魅力度向上を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	73	事業名	歴史資源などの活用
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」レプリカ作製業務委託 【事業費】5,203,000円 【概要】重要文化財掛軸全16幅のうち、4幅（第9尊者～第12尊者）のレプリカを作製しました。</p> <p>2 「絹本著色十六羅漢像（複製）公開展（第二幕）」の開催 【開催期間】5月11日～5月26日 【会場】歴史民俗資料館 企画展示室 【概要】平成29～30年度に作製した十六羅漢像レプリカ8幅（第1尊者～第8尊者）及び関連資料の展示を行いました。（来場者数：866名）</p> <p>3 歴史散策事業「女化まち歩き」の開催 【開催日】10月24日 【行程】①女化神社 ②女化神社奥の院 ③旧岡田小学校女化分校（国登録有形文化財／牛久市）④旧竹内農場赤レンガ西洋館 ⑤澤田茶園（牛久市）⑥明治天皇駐蹕之地石碑（牛久市）⑦歴史民俗資料館（昼食） 【概要】女化神社周辺エリアの市民遺産等を巡る歴史散策を開催しました。参加者に対し、健幸長寿課職員による「健幸マイレージ事業」についての案内を行ったほか、女化稲荷に因み、市内の老舗和菓子店3店舗の稲荷寿司食べ比べをするなど、健康づくりや商工振興といった要素も絡めたイベントとなりました。（参加者：19名）</p> <p>4 歴史的・文化的資源活用に係る連絡調整会議の発足 観光・シティプロモーション・健康づくり・教育など、市が主催する様々な事業の実施に当たり、当市の財産である歴史的・文化的資源（文化財等）の有効活用を図るため、関係各課による意見交換を行い、「歴史的・文化的資源活用に係る連絡調整会議規程」を策定しました。 【会議構成部署】企画課／シティセールス課／健幸長寿課／スポーツ都市推進課／商工観光課／教育総務課／指導課／文化・生涯学習課 【打合せ会議】第1回：7月8日 第2回：11月14日</p>
成果・課題等	<p>●市指定文化財又は市民遺産等を活用したイベント件数（令和元年度開催）…2件 ●指定文化財及び市民遺産等の説明板設置数（平成27年度以降の延べ設置数）…18件</p> <p>貴重な文化財の保存に加え、当市の持つ魅力の一つとして積極的に活用すべく、庁内における連携・協力体制構築のための連絡調整会議を発足しました。 令和元年度は、健幸長寿課や市内店舗の協力の下、歴史散策事業を実施し、参加者の方々から好評を博しました。今後も様々な角度から歴史的・文化的資源の活用方法を検討し、他部署や他組織との協働によるイベント等を企画・実施していきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	74	事業名	歴史民俗資料館の利活用の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 企画展・収蔵品展の開催 ①常設展 ②ボランティア作品展「布れあい染織展」：4/19～5/6 ③企画展「絹本著色十六羅漢像（複製）第二幕」：5/11～5/26 ④ポスター展「ヒロシマを知ろう!! - 8月6日、きのご雲の下で -」：6月29日～7月15日 ⑤収蔵品展「鈴木草牛素描画展」：8月1日～9月22日 ⑥郷土作家展「北澤廣城展」：11月2日～11月17日 ⑦昔の道具展「暖房具を中心に」：1月15日～2月20日 ⑧「竜鉄」の歴史を探る：（新型コロナウイルス感染防止のため2月22日～2月24日で中止）</p> <p>2 普及事業の実施 ①古文書講座 上級コース12回の内10回，初級コース9回の内8回実施（新型コロナウイルス感染防止のため3月は中止） ②博物館見学会（伊能忠敬記念館外）10/18，11/22 ③れきみんシアター：毎週土曜日（3月は中止） ④れきみん祭り：8/10 ⑤駄菓子屋：2回（8/10，10/20） ⑥撞舞コスプレ体験：2回（7/21，7/24）</p> <p>3 体験学習の実施 ①わら草履教室作り教室：2回（7/27，8/4） ②しめ飾り作り教室：2回（12/15，12/18） ③藍の絞り染め教室：2回（10/25，10/27） ④てん刻入門教室（3月2回予定中止） ⑤江戸型彫り教室：11/24 ⑥機織り伝承教室：毎週火，木（3月は中止） ⑦機織り教室（3月8回予定中止） ⑧簡単機織り教室：8/10 ⑨折り紙教室：3回（6/26，10/25，2/21） ⑩お手玉作り教室：2/23 ⑪竹細工教室：8/10 ⑫龍ヶ崎とんび凧作り教室：12/1 ⑬貝殻で作るおひな様教室：2/16</p> <p>4 文化活動の推進及び支援 ①常陽小学生新聞『昔の道具と暮らし』に寄稿：11回 ②資料閲覧及びレファレンス：通年 ③展示及び郷土史解説：我孫子市歴史会，水戸文学散歩の会，船橋市歴史散策会，千葉科学大学 ④小学校見学学習支援：市内10小学校，阿見町4校，牛久市4校，取手市1校 ⑤学芸員実習生の受入：2名（大正大学，東洋大学） ⑥ボランティア活動の推進及び支援：資料館ボランティア，龍ヶ崎市古文書同好会（育成及び協働団体） ⑦職場体験の受け入れ：6名（龍ヶ崎南高校，城ノ内中学校）</p> <p>5 資料収集整理保存 ①資料の収集：7件54点 ②伝統的祭礼・行事等基礎調査：6地区 22件の調査シートを記録</p>
成果・課題等	<p>●歴史民俗資料館の延べ利用者数 23,630人（4/1～3/8まで） ●歴史民俗資料館（体験学習室）の稼働率 38% ●歴史民俗資料館の利用者（展示事業，普及事業，体験学習教室）の満足度 展示事業：90% 普及事業：96.5% 体験学習：98%</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策のため，令和2年3月8日から臨時休館となり，企画展1件，普及事業2件，体験学習2件が中止となりました。また，学習指導要領の変更で小学校3年生の社会科見学学習の時期が変わり，参加校が5校減少するなど，前年度より利用者数が2割減となりました。しかし，参加校の全児童は，資料館ボランティアの協力で綿繰り体験が出来ることが好評で，満足度100%の評価をいただいています。職場体験の受け入れ時期は小学校の見学時期に重なるため，子どもたちへの指導やボランティアとの協働をすることで世代間交流の機会にもなっています。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	75	事業名	体験学習の充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>1 歴史民俗資料館の体験教室</p> <p>①わら草履作り教室：2回（7/27, 8/4）→参加者：15人 ②しめ飾り作り教室：2回（12/15, 12/18）→参加者：20人 ③藍の絞り染め教室：2回（10/25, 10/27）→参加者：20人 ④てん刻入門教室（3月2回予定中止） ⑤江戸型彫り教室：11/24 →参加者：15人 ⑥機織り伝承教室：毎週火、木（3月は中止） ⑦機織り教室（3月8回予定中止） ⑧簡単機織り教室：8/10 →参加者：29人 ⑨折り紙教室：3回（6/26, 10/25, 2/21）→参加者：36人 ⑩お手玉作り教室：2/23 →参加者：8人 ⑪竹細工教室：8/10 →参加者：10人 ⑫龍ヶ崎とんび凧作り教室：12/1 →参加者：9人 ⑬貝殻で作るおひな様教室：2/16 →参加者：12人</p>
成果・課題等	<p>●体験学習教室の延べ参加者数：174人</p> <p>毎年実施を繰り返していると、参加者数の増減がある教室もあり、前年度の実績とアンケートを参考に、①と⑥の開催日、実施回数を②と⑧で見直し、その効果を探る試みをしました。それぞれ、成果のあったもの、無かったものがありましたが、こうした試みを他の教室でも実施しながら、その結果を今後の実施内容に活かしていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	76	事業名	郷土史の普及促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 歴史民俗資料館における郷土史促進事業</p> <p>①古文書講座 上級コース12回のうち10回，初級コース9回のうち8回実施 (新型コロナウイルス感染防止のため3月は中止) →参加者：上級コース延べ208名 / 初級コース延べ186名</p> <p>②博物館見学会(伊能忠敬記念館外)10/18,11/22 →参加者：計51名</p> <p>③れきみんシアター(まんが日本昔話)：毎週土曜日(3月は中止) →参加者：延べ162名</p> <p>④れきみん祭り：8/10 →参加者：1,188名</p> <p>⑤駄菓子屋：2回(8/10,10/20) ※れきみん祭り/ふれあい広場内でそれぞれ実施</p> <p>⑥撞舞コスプレ体験：2回(7/21,7/24) →参加者：計24名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲れきみん祭り「蚊帳体験コーナー」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲撞舞コスプレ体験</p> </div> </div>
	成果・課題等

(2) スポーツ都市推進課

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	77	事業名	流通経済大学運動部との連携
担当課	企画課／スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>全国的にもトップレベルの実力を有する流通経済大学運動部の支援を次の通り実施しました。</p> <p>(1) 各運動部の公式試合日程等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園イベントスケジュールへの掲載や試合会場等にポスターを掲示するとともに、市広報紙りゅうほー・市公式ホームページ・SNS（ツイッター・フェイスブック）の活用や龍ヶ崎市駅前デジタルサイネージなどを活用し、継続した試合情報の提供のほか、サッカー公式戦集中応援日等のイベントについても、積極的な告知を行い、来場者の増加を図りました。 <p>(2) 市の運動施設の優先貸出 総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦等の開催数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー 関東大学サッカーリーグ戦・・・9 試合 日本フットボールリーグ（JFL）・・・14 試合 ・ラグビー 関東大学リーグ戦・・・2 試合 ・硬式野球 東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ戦・・・5 試合 ・陸上競技 流通経済大学陸上競技会・・・7 大会（9 日間） <p>(3) 運動部応援バスツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー部 天皇杯2回戦 対 浦和レッドダイヤモンドズ戦，7月3日，浦和駒場スタジアム，参加者26人 ・ラグビー部 関東大学ラグビーリーグ1部 対 大東文化大学戦，11月9日，秩父宮ラグビー場，参加者23人
成果・課題等	<p>今後も、継続的に様々な媒体を活用し、各運動部の公式試合日程等の情報提供を行うとともに、流通経済大学運動部の総合運動公園における公式戦開催への協力を行っていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	78	事業名	トップアスリートの育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 技術講習会(龍ヶ崎市体育協会)</p> <p>(1) 流通経済大学硬式野球部野球教室 日時：12月1日(日) 会場：たつのこスタジアム 対象：小中学生 参加者数：140名</p> <p>(2) テニス技術講習会 日時：2月29日(土) 会場：龍ヶ岡公園テニスコート 対象：小学生～成人 参加者数：26名</p> <p>2. 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰</p> <p>(1) 激励金交付件数：51件 表彰(龍ヶ崎市体育協会)：表彰式 2月8日(土) 表彰対象者(全国規模以上の大会に出場, 中学生のみ関東規模の大会以上) 団体：4団体, 個人：57人, 功労者表彰(指導者)：2人</p> <p>3. オリンピック・パラリンピック出場者への特別奨励金制度の検討 オリンピック出場内定者への金銭面での支援に関する新制度を検討し, 令和2年度予算に計上しました。</p> <p>4. トップアスリートに対する活動支援</p> <p>(1) 市総合運動公園(たつのこアリーナ)等の施設提供 スポーツクライミング・野口啓代選手の活動支援のため, たつのこアリーナ(メインアリーナ)に, スピード壁設置場所を提供するとともに, トレーニング室等のアリーナ施設の貸出を行いました。(壁の設置は平成31年1月～令和元年9月)</p> <p>5. スポーツ指導者養成講習会の実施 (※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止) 開催日：令和2年2月29日(土) 会場：たつのこアリーナ多目的室 内容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p>
成果・課題等	<p>優れた資質を有する又はトップレベルを目指している競技者に対し, 高度な指導ができ, ジュニア期からトップアスリートを育成していくため, 市内のスポーツ団体と連携し, 技術講習会等を検討していきます。また, 本市出身で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場内定者への支援に関する新制度について, 創設する予定です。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	79	事業名	スポーツボランティアの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>多くのボランティアの協力により、市民スポーツ・レクリエーションまつり、龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会や市民ウォークラリー大会等のスポーツイベントを開催しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通経済大学学生 スポレクまつり・中学校駅伝競争大会等では、部活動及びスポーツ健康科学部学生の実習として協力を得ました。 2. スポーツ団体 スポレクまつり、市民ウォークラリー大会等の企画・運営等で協力を得ました。 3. 企業 スポレクまつりでは多くの企業に協賛をいただき、東京ガスは障がい者スポーツの普及を図ることを目的に、ボッチャ・めかくしランニングのブースを担当しました。
成果・課題等	<p>これまでに、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアにより市のスポーツイベントを開催してきましたが、今後は、マラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	81	事業名	スポーツ施設の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、高水準の機能・設備を備えた施設としての充実を図るとともに、改修及び備品の更新をしました。</p> <p>◇令和元年度実績</p> <p>1. たつこのアリーナ</p> <p>(1) 屋内LEDデジタル時計購入 1台</p> <p>(2) アリーナプール清掃ロボット購入 1台</p> <p>(3) 会議用テーブル購入 10台</p> <p>(4) プールフロア購入 24台</p> <p>2. たつこのフィールド</p> <p>(1) 更衣室空調設備工事 2箇所</p> <p>(2) 超音波風速計購入 1台</p> <p>3. たつこのスタジアム</p> <p>(1) ウレタン舗装張替修繕(1, 3塁側ダッグアウト)</p> <p>(2) グラウンド整地機購入(グラウンド整地機1台, アタッチメント1式)</p> <p>(3) 防球ネット等購入(防球ネット6台, ティーバッティングネット3台)</p> <p>4. 龍ヶ岡公園テニスコート</p> <p>(1) 人工芝化工事 3,790㎡</p> <p>(2) 照明設置工事 10基</p> <p>(3) フットサルゴール購入 2組</p>
成果・課題等	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、指定管理者と連携を図り、利用者の視点に立った利用しやすい施設整備の充実に努めます。</p> <p>令和2年度は、たつこのアリーナの屋外流水プールリニューアル工事、空調機インバータ交換工事、プール強制シャワー工事、龍ヶ岡公園テニスコートの仮設トイレ設置工事及び若柴公園テニスコートの東屋更新工事等を行い、今後も計画的に利用者の利便性や機能の充実を図ります。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	82	事業名	スポーツボランティアの充実【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>多くのボランティアの協力により、市民スポーツ・レクリエーションまつり、龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会や市民ウォークラリー大会等のスポーツイベントを開催しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通経済大学学生 スポレクまつり・中学校駅伝競争大会等では、部活動及びスポーツ健康科学部学生の実習として協力を得ました。 2. スポーツ団体 スポレクまつり、市民ウォークラリー大会等の企画・運営等で協力を得ました。 3. 企業 スポレクまつりでは多くの企業に協賛をいただき、東京ガスは障がい者スポーツの普及を図ることを目的に、ボッチャ・めかくしランニングのブースを担当しました。
成果・課題等	<p>これまでに、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアにより市のスポーツイベントを開催してきましたが、今後は、マラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業 No	83	事業名	スポーツ情報発信の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 市のスポーツ施設の利用案内及びスポーツ教室，スポーツイベントなどの情報提供</p> <p>(1) 広報紙「りゅうほー」による情報提供 月2回発行する広報紙「りゅうほー」に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載し，利用者に対して周知を図りました。</p> <p>(2) 市公式ホームページによる情報提供 市公式ホームページは，広報紙「りゅうほー」と比較して，たくさんの情報量を発信することが可能であるとともに，随時情報を更新できるため，イベント・スポーツ教室等，詳細な案内を提供しました。</p> <p>(3) 指定管理者「たつのこまちづくりパートナーズ」に関する情報提供 市公式ホームページ内にリンク先を貼り，より詳しい情報を提供しています。</p> <p>2. スポーツ団体に関する情報提供の推進</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」，体育協会，スポーツ少年団，レクリエーション協会における加盟団体の団員募集や活動内容について，市広報紙「りゅうほー」や市公式ホームページに掲載し，幅広い情報提供を行いました。</p> <p>(2) スポーツ少年団の団員募集 市内小中学校にチラシの配布を依頼しました。</p>
成果・課題等	<p>施設の利用案内及びスポーツイベント，スポーツ教室等を市公式ホームページ等へ掲載することにより，市内外の方に広く周知することができました。</p> <p>今後は，市民が求める情報をさらに分かりやすく市公式ホームページへ掲載できるよう努めていきます。</p> <p>その他，市公式 SNS（フェイスブック等）の活用や指定管理者が発行するチラシ，スポーツイベントのポスター等，スポーツに関する情報について，あらゆる年齢層に配慮した情報発信に努めていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	84	事業名	スポーツ教室・イベントの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>各種大会やイベントを定期的開催し、市民のスポーツ参加機会の提供と気軽にスポーツに親しむ意識を高めるなど、スポーツ人口の拡大に努めました。</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>各種大会・イベント等事業数：13事業 参加人数：延べ8,756名 指定管理者によるスポーツ教室参加人数：延べ45,653名</p> <p>1. 各種大会・イベント等事業</p> <p>(1) 市民ウォークラリー大会：276名 71チーム (5月5日) (2) 市民スポーツフェスティバル：2,910名 (9月～12月) (3) 市民スポーツ・レクリエーションまつり：2,500名 (10月20日) (4) ニュースポーツ体験教室：106名 (2月22日) (5) 第13回中学校駅伝競走大会：198名 (12月14日) (6) スポーツ少年団本部交流大会：306名 (2月2日) (7) 県民駅伝競走大会：13名 (12月7日) (8) 少年少女陸上教室：78名 (7月27日, 28日, 29日, 31日, 8月1日) (9) スポーツ技術講習会：166名 (野球：12月1日, テニス：2月29日) (10) レクリエーション協会バウンドテニス大会他5事業：856名 (7月～2月) (11) ヘルシーバレーボール大会：101名 (11月30日) (12) ウォーキング講座 (総合型地域スポーツクラブの交付金事業)：557名 (通年/延33回) (13) ランニングクリニック (総合型地域スポーツクラブの交付金事業)：118名 (11月2日) (14) 小学生陸上記録会直前合同練習会 (新規事業)：194名 (4月22日, 26日, 5月8日, 10日, 13日) (15) 中学生部活動コンディショニングレクチャー (新規事業)：377名 (5月18日～2月2日)</p> <p>2. 指定管理者によるスポーツ教室</p> <p>コース型教室や1回単位で参加できる教室、また最新のレスミルズを導入し、様々な年代に対応した教室を展開しています。</p> <p>(1) レスミルズ・ラディカルプログラム教室 (グループフィットネスプログラム) (2) 子ども向け教室：水泳教室 体操教室 ダンス教室 Jrバスケット教室等 (3) 高齢者向け健康教室：体力アップ教室 体幹トレーニング バランスボール等 (4) コース型教室：キックボクシングエクササイズ, エアロビクス, アクアビクス, ヨガ等 (5) 卓球タイム・テニスタイム・プライベートレッスン等</p>
成果・課題等	<p>スポーツの各種大会やイベントを定期的開催することにより、市民のスポーツ参加への機会を提供しました。こうした大会やイベントをきっかけに、さらに深くスポーツに関わっていく子どもたちもいます。今後も誰もが気軽に参加できるスポーツの場を提供し、スポーツ人口の拡大を図ります。</p> <p>指定管理者によるスポーツ教室は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に応じた教室を展開しています。</p> <p>今後はたつのこアリーナだけでなく、たつのこフィールド等の活用も検討していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	85	事業名	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 スポーツ少年団の団員募集や指導者の育成支援をするとともに、活動拠点の確保や大会の開催・出場を支援する等、スポーツ少年団が継続的に活動できるよう支援しました。</p> <p>(1) バスの賃借料の支援 大会に出場するスポーツ少年団を対象に、年に1回を限度として、バスの賃借料を補助しました。 12件 1,292,169円</p> <p>(2) 学校体育施設夜間開放の使用料の免除 活動拠点の確保を目的に、市内小中学校体育館の夜間開放使用料を免除しました。</p> <p>(3) スポーツ施設の使用料の減免 大会開催を対象に総合運動公園及びテニスコートの施設使用料を減免しました。</p> <p>(4) スポーツ少年団本部交流大会開催への支援 スポーツ少年団加盟団体相互の交流と親睦を深め、スポーツを通して青少年の健全育成を図りました。 期日：R2.2.2 内容：長縄跳び 綱引き 参加者数：市内各スポーツ少年団 団員 300名</p> <p>2. 総合型地域スポーツクラブの支援 総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」の会員募集や認知度向上を支援するとともに、活動拠点の確保を支援し、市の交付金事業として4事業を実施しました。</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブの活動内容の市民への周知 クラブの活動内容を市のホームページにリンクし、市民へ広く周知しました。</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 活動場所・練習場所について連携協力し、スポーツ機会の充実を図りました。</p> <p>(3) 総合型地域スポーツクラブの交付金事業の実施</p> <p>①小学生陸上記録会直前合同練習会【新規事業】 陸上記録会に向けた「走る・跳ぶ・投げる」といったスポーツの基本動作について学ぶ講習会をたつのこフィールドにおいて実施 実施日 4/22・4/26・5/8・5/10・5/13 計5回 参加者数：延べ194名</p> <p>②中学生部活動コンディショニングレクチャー【新規事業】 中学生部活動の競技力向上のため、全スポーツに共通する体幹トレーニングや呼吸法・栄養学といった指導を専門のアスレティックトレーナーを派遣し、実施 実施回数：25回 参加者数：愛宕中/女子バスケ 中根台中/陸上競技 他</p> <p>③ランニングクリニック たつのこフィールドにて11/2(土)に実施。参加者数：118人 谷川真理氏を講師として、子どもから大人まで楽しく走るクリニックを開催</p> <p>④ウォーキング講座 各コミュニティセンターを拠点として、年3回程度のポールを使ったウォーキング講座を実施。 実施回数：延べ33回 参加者数：延べ557人</p>
成果・課題等	<p>少子化の進行に伴い、スポーツ少年団員の確保が難しくなり、活動を縮小する少年団も見受けられます。今後も継続して団員募集の支援や活動拠点の確保等を支援していきます。</p> <p>総合型地域スポーツクラブとの連携強化を図るとともに、4つの交付金事業を実施し、自立的運営と質的充実を促進していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	86	事業名	ニュースポーツの推進
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. ニュースポーツの研究 スポーツ推進委員協議会において、龍ヶ崎市で新たに普及するニュースポーツの種目を考案し、市民スポーツ・レクリエーションまつり及びニュースポーツ体験教室で実証実験を行いました。</p> <p>2. ニュースポーツ体験教室の実施 (1) 実施日時：令和2年2月22日（土） (2) 会場：たつのこアリーナ (3) 参加者数：106名 (4) 実施内容：バウンドテニス，ヘルシーボール，ユニカール，ラダーゲッター，龍ヶ崎発ニュースポーツ</p> <p>3. ウォークラリー大会及びニュースポーツ大会の開催 (1) ウォークラリー大会 ①令和元年5月5日（日） ②会場：市役所（米町～姫宮町～上町～根町のコース） ③主催：龍ヶ崎市ウォークラリー大会実行委員会 ④参加者数：276名 (2) 龍ヶ崎市レクリエーション協会加盟団体のニュースポーツ大会開催に対し、活動助成金の補助を行いました。 ①助成団体：ソフトバレーボール，バウンドテニス，インディアカ等6団体 ②大会参加者数：856名</p> <p>4. 市民スポーツフェスティバル・市民スポーツ・レクリエーションまつりにおけるニュースポーツの実施 (1) 市民スポーツフェスティバル：（9～12月）インディアカ，バウンドテニス等 (2) 市民スポーツ・レクリエーションまつり：10月20日 ソフトバレーボール，スポーツ吹矢等</p>
成果・課題等	<p>第2次スポーツ推進計画策定時に実施した市民意識調査（平成28年度実施）において、『年齢にあったスポーツの開発・普及を進める』と回答した方の割合が38.8%で2番目に多く、今後も継続して市民の誰もが楽しめる多様なニュースポーツの体験教室や大会を開催し、充実を図っていきます。</p> <p>スポーツ推進委員がニュースポーツの研究を行い、身近な施設で実施可能な新たな競技を検討しています。今後は、コミュニティセンター単位の地域ごとにニュースポーツを普及し、スポーツ未実施者の掘り起こし等を行っていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	87	事業名	スポーツ指導者の育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. スポーツ指導者養成講習会の実施 (※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止) 開催日：R2.2.29 会場：たつのこアリーナ多目的室 内 容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p> <p>2. スポーツ功労賞・優秀賞表彰式の開催 体育協会加盟団体の各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者と各種スポーツ大会で活躍した団体及び個人に対して表彰を行いました。 開催日：R2.2.8 内 容：優秀賞4団体・個人57名・功労者2名（柔道協会・バドミントン部）の指導者に対して表彰を行いました。</p> <p>3. スポーツ少年団本部功労者表彰の開催 スポーツ少年団活動において長年指導で功績のあった個人について「スポーツ少年団本部交流大会」の中で表彰を行いました。 開催日：R2.2.2 内 容：スポーツ少年団本部交流大会時に教育長賞4名（馴染サッカー・龍ヶ崎ペレグリンジュニアFC・竜ヶ崎リトルリーグ）・特別功労賞5名（龍ヶ崎ジャイアンツ・久保台ブルズ・龍ヶ崎ペレグリンジュニアFC・竜ヶ崎リトルリーグ）・功労賞6名（龍ヶ崎剣道・龍ヶ崎ジャイアンツ・龍ヶ崎ハリケーンズ）の表彰を行いました。</p>
成果・課題等	<p>長年スポーツ競技の普及・振興のため指導に当たっている指導者に対し、表彰を行っています。</p> <p>今後もスポーツ指導者に対して、スポーツ技術の向上だけでなく、子どもたちの安全面にも配慮した指導が行えるよう、講習会等を開催していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	88	事業名	トップアスリートの育成【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 技術講習会(龍ヶ崎市体育協会)</p> <p>(1) 流通経済大学硬式野球部野球教室 日時：12月1日(日) 会場：たつのこスタジアム 対象：小中学生 参加者数：140名</p> <p>(2) テニス技術講習会 日時：2月29日(土) 会場：龍ヶ岡公園テニスコート 対象：小学生～成人 参加者数：26名</p> <p>2. 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰</p> <p>(1) 激励金交付件数：51件 表彰(龍ヶ崎市体育協会)：表彰式 2月8日(土) 表彰対象者(全国規模以上の大会に出場, 中学生のみ関東規模の大会以上) 団体：4団体, 個人：57人, 功労者表彰(指導者)：2人</p> <p>3. オリンピック・パラリンピック出場者への特別奨励金制度の検討 オリンピック出場内定者への金銭面での支援に関する新制度を検討し, 令和2年度予算に計上しました。</p> <p>4. トップアスリートに対する活動支援</p> <p>(1) 市総合運動公園(たつのこアリーナ)等の施設提供 スポーツクライミング・野口啓代選手の活動支援のため, たつのこアリーナ(メインアリーナ)に, スピード壁設置場所を提供するとともに, トレーニング室等のアリーナ施設の貸出を行いました。(壁の設置は平成31年1月～令和元年9月)</p> <p>5. スポーツ指導者養成講習会の実施 (※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止) 開催日：令和2年2月29日(土) 会場：たつのこアリーナ多目的室 内容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p>
成果・課題等	<p>優れた資質を有する又はトップレベルを目指している競技者に対し, 高度な指導ができ, ジュニア期からトップアスリートを育成していくため, 市内のスポーツ団体と連携し, 技術講習会等を検討していきます。また, 本市出身で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場内定者への支援に関する新制度について, 創設する予定です。</p>

【令和 2 年度事業計画】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン (主要施策)

(1) 文化・生涯学習課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
目標	1	子育て環境日本一【重点目標】					
施策	1	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現					
事業名	学童保育ルームの充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、学童保育や学習支援などの充実を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業No.A-1-2 龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1						
今年度の取組内容	<p>1業務委託による、安定的な保育ルームの管理運営を図る。</p> <p>(1)入所児童数や児童の特性に応じた支援員等の配置を進める。</p> <p>(2)施設に必要な備品等の購入や修繕により、児童の過ごしやすい環境整備を進める。</p> <p>(3)支援員等に対する研修について情報を共有し、支援員の育成に努めさせる。</p> <p>(4)委託業者と毎月の連絡調整会議や必要に応じた打合せを行い、適宜運営について指導する。</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		158,509,106	164,186,667	0	0	0
	事業費		142,547,573	148,762,592	0	0	0
	人件費		15,961,533	15,424,075	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		2,047	2,130	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		35,498,000	34,857,000	0	0	0
	県支出金		31,654,000	32,950,000	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		45,082,550	47,361,650	0	0	0
一般財源		46,274,556	49,018,017	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	2	住んでみたいと感じるまちづくり					
	2	特色ある教育環境の創造					
	多様な学習機会の提供						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業No.B-3-2 龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
今年度の取組内容	<p>(1)アフタースクール・サタデースクールの実施に係る基本方針に伴い、学習活動や体験活動等ができる場を提供する。スクールに通うことが楽しいと感じる子どもが増え、自主学習の定着が図られるよう、実施回数や学習プログラム、所要予算を調整し、事業の適否を検討する。対象学年は、第3学年～第6学年とする。</p> <p>(2)民間事業者のノウハウを活かし、児童の自主性・社会性を育むとともに、子どもの居場所としての機能を発揮したスクール運営を行う。</p> <p>(3)アフタースクール・サタデースクールに通わせたいと感じる保護者が増え、満足度が向上することを目指す。(アンケートの実施)</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		16,516,930	14,274,578	0	0	0
	事業費		10,254,510	9,593,640	0	0	0
	人件費		6,262,420	4,680,938	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		213	185	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		3,024,000	3,048,000	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		13,492,930	11,226,578	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	4	龍の子の生きる力を育むまちづくり					
施 策	3	魅力があり、信頼される学校づくりの推進					
事業名	教育の日推進事業の充実						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	11月の龍ヶ崎教育月間、11月5日の龍ヶ崎教育の日を中心に龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することで、市民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもを育成します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.1-3-3、2-1-4						
今年度の取組内容	<p>(1) 実行委員会の開催(5月～2月) 教育の日推進事業の事業内容及び役割分担などについて、庁内関係課の職員及び関連団体で構成される実行委員会を開催し、協議を行う。</p> <p>(2) 周知活動の実施(9月～11月) 広報紙、市公式ホームページなどに教育の日推進事業について掲載する。 市内の公共施設や教育施設には、ポスター・横断幕及びのぼり旗などを設置し、教育の日推進事業の周知活動を行う。</p> <p>(3) 教育の日推進事業の展開(11月) 実行委員会での協議をふまえ、教育の日推進事業を展開する。 令和2年度予定実施事業: 昨年実施した「たつの子未来トーク」から導き出された意見からの実践報告等</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	4,619,227	4,308,542	0	0	0	
	事業費	266,082	241,497	0	0	0	
	人件費	4,353,145	4,067,045	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	60	56	0	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	4,619,227	4,308,542	0	0	0		
事業 評 価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
施 策	1	家庭の教育力の向上				
事業名	各種セミナーの開催・相談体制の充実					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	子どもを持つ親たちの学習や交流の場の提供として、子育てふれあいセミナーを開催します。また、家庭教育の悩みなどに対して、家庭教育指導員による家庭教育相談を実施します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-1-1					
今年度の取組内容	<p>【子育てふれあいセミナーの開催】</p> <ol style="list-style-type: none"> 年間4回の開催・・・会閉講式、全体研修(講演会)、移動交流学习等 事業の周知・情報発信を行い、各学校の担当役員のみならず、多くのセミナー生の参加に努める。 講演会は、セミナー生となる児童の保護者の子育ての悩みを解決する一助となる家庭教育に関する内容とする。 保育を必要とする未就学児を保護者が連れてくる場合には、保育室を設置し、安心して受講できる環境づくりに努める。 各校でのセミナーを年間2回程度開催し、セミナー生同士での交流に努める。 年間の子育てふれあいセミナーの取り組みを「実践の歩み」としてまとめ、1年間の成果や振り返りとしている。 <p>【家庭教育相談の実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭教育指導員による家庭教育相談の実施 主に青少年(18歳以上)及びその保護者の家庭教育に関する相談業務を電話または窓口で実施し、必要に応じて、関係機関等を紹介することで、専門機関との連携に努める。 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	2,552,279	2,729,312	0	0	0
	事業費	2,017,682	2,038,682	0	0	0
	人件費	534,597	690,630	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	33	35	0	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
起 債	0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,552,279	2,729,312	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等	
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止				

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	2	幼児教育の充実					
事業名	子どもの読書活動の推進						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	子ども読書活動推進計画に基づき、幼児期における読み聞かせや読書の重要性の周知を図り、子どもが自主的に読書に取り組む環境整備を進めます。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-1-3						
今年度の取組内容	<p>子どもの読書状況についてアンケート実施</p> <p>1 主旨 現行の「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第三次)」が令和3年度で計画期間が終了となるため、第四次を策定する基礎資料とするため、子どもの読書状況についてアンケートを実施する。実施内容は、第三次計画策定時に実施したアンケートを踏まえて行い、前回と比較する形で分析し、市子ども読書活動推進委員会に報告する。</p> <p>2 実施スケジュール 4月～6月 アンケート案作成 7月 第1回市子ども読書活動推進委員会(アンケート案の内容について) 9月～10月 アンケート実施 11月～1月 集計・分析 2月 第2回市子ども読書活動推進委員会(アンケート結果の報告)</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	1,870,064	667,494	0	0	0	
	事業費	1,717,322	53,600	0	0	0	
	人件費	152,742	613,894	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	24	9	0	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	1,870,064	667,494	0	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	4	子どもの交流と活動の促進					
事業名	子どもの交流・活動拠点の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	たつのこ山管理棟の施設を利用して、サポーターやボランティアの見守りにより、子どもたちの自由な発想を育む空間を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-1						
今年度の取組内容	たつのこ山管理棟において、NPOのサポーターや地域のボランティアにより遊びの指導や見守りを行い、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場として提供する。						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	2,972,219	844,104	0	0	0	
	事業費	2,284,880	0	0	0	0	
	人件費	687,339	844,104	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	38	11	0	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,972,219	844,104	0	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	4	子どもの交流と活動の促進					
事業名	子どもの地域活動への参加促進						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	子どもの地域活動への参加を促し、青少年の健全育成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-3						
今年度の取組内容	<p>(1)「地域の子どもは地域ぐるみで育てる」という視点から、学校、地域、その他の関係機関が互いに協力して、青少年の健全な育成を図るため、市内の小中学校校門などでの立哨による声かけなど、非行防止キャンペーン(あいさつ・声かけ運動)を実施する。また、学校を通じて子どもたちに市内一斉清掃への参加を呼びかけるとともに、参加者にはまちづくりポイント制度のポイントシールを配付するなどの方法により、子どもたちの地域活動等への参加を促す。</p> <p>(2)「魅力ある取組」、「学力向上」、「連携」を重視した地域社会の教育力を有効活用した教育活動の展開</p> <p>(3)地域行事への積極的な参加や地域人材を活用した教育活動や体験活動を通しての地域社会の一員としての自覚や感謝、思いやりの心の育成と地域と一体となった学校づくり</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		1,132,823	1,060,840	0	0	0
	事業費		140,000	140,000	0	0	0
	人件費		992,823	920,840	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		15	14	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起 債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		1,132,823	1,060,840	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進					
事業名	人権啓発活動の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	人権尊重について、身近で大切なものと感じ、理解を深めることのできる啓発を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-3-1						
今年度の取組内容	<p>1 人権啓発に係るパネル展の開催 人権週間(12月4日～10日)に合わせて、歴史民俗資料館または中央図書館2階において、人権啓発に関するパネル展示を行う。 5月～7月 展示パネル借用申込 8月～9月 チラシ作成 10月～11月 チラシ配布, 市広報紙・HP等へ掲載 12月 展示</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	235,309	157,393	0	0	0	
	事業費	6,196	3,920	0	0	0	
	人件費	229,113	153,473	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	3	2	0	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	235,309	157,393	0	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進				
事業名	市民大学講座の充実					
担当課	企画課／文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	大学等との連携により、市民ニーズに応える専門性の高い講座を実施します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業No.B-4-3 龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-2-2、3-2-3					
今年度の取組内容	(1)私立大学生涯学習プログラムによる講座の開催 ①応募 ②大学及び講師との調整 ③講座の開催 (2)流通経済大学と連携した市民大学講座の開催 ①大学側との協議調整 ②新たな公開方法の検討 ③市民大学講座の開催					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	534,597	867,555	0	0	0
	事業費	0	23,451	0	0	0
	人件費	534,597	844,104	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	7	11	0	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	534,597	867,555	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実					
事業名	市民遺産の認定						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財以外で、市民に親しまれている身近な自然や歴史的・文化的な遺産を「龍ヶ崎市民遺産」として認定し、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-2						
今年度の取組内容	<p>1 認定候補物件(市推薦)の洗い出し(4月～5月) ・市や小中学校等が所有する物のうち、歴史的・文化的価値があり市民遺産認定候補物件になり得ると考えられる物について、洗い出しを行う</p> <p>2 認定候補物件の公募(5月～9月) ・市民に向け、広報紙や公式ホームページ等を通して周知する</p> <p>3 候補物件についての調査(5月～10月) ・市民から推薦のあった候補物件、または市が自ら推薦する候補物件について、市史等の文献や関係者への聞き取りなどにより調査を行う</p> <p>4 文化財保護審議会への諮問・会議の開催(11月)</p> <p>5 教育委員会定例会への議案提出(12月)</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		3,528,651	2,612,927	0	0	0
	事業費		1,084,780	924,720	0	0	0
	人件費		2,443,871	1,688,207	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		46	34	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		3,528,651	2,612,927	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実					
事業名	歴史的資源などの活用						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財や市民遺産などの資源を活用し、その他の地域資源と組み合わせた散策・観光コースを提案するなど、魅力的な環境づくりを推進します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-3						
今年度の取組内容	<p>1 国指定重要文化財「絹本着色十六羅漢像」の複製(4幅) ・平成29年度～令和元年度に引き続き、全16幅のうち残り4幅(第13尊者～第16尊者)の掛軸を複製する</p> <p>2 「国指定重要文化財『絹本着色十六羅漢像(複製)』公開展」の企画 ・令和2年度中に全16幅の複製が完成予定であることを踏まえ、令和3年度開催の特別展を企画する</p> <p>3 歴史的・文化的資源を活用した周知啓発事業の企画・実施 ・庁内関係課等と連携し、指定文化財や市民遺産を活用した事業(まち歩きイベント等)を企画、実施する</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		305,484	6,549,055	0	0	0
	事業費		0	5,321,268	0	0	0
	人件費		305,484	1,227,787	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口) 76,741		4	85	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
	起債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		305,484	6,549,055	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

(2) スポーツ都市推進課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～				
目標	2	住んでみたいと感じるまちづくり				
施策	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進				
事業名	トップアスリートの育成					
担当課	スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	トップアスリートを育成するための環境整備を行います。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業No.B-4-2 龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-2、5-4-2					
今年度の取組内容	<p>優れた資質を有する競技者やトップレベルを目指している競技者に対し、高度な指導ができるよう指導者の育成に努める。また、競技者の競技力向上を図るため技術講習会を開催するとともに、国際大会や全国大会に出場する選手への支援・応援を行う。さらにオリンピック・パラリンピック出場者への支援として特別奨励金制度を制定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ指導者養成講習会の実施 2. 技術講習会の実施 3. 全国大会等出場者への奨励金の交付及び表彰 4. 龍ヶ崎市2020年オリンピック・パラリンピック東京大会出場特別奨励金交付要綱の制定 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	2,464,164	2,570,936	0	0	0
	事業費	1,242,228	1,036,202	0	0	0
	人件費	1,221,936	1,534,734	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	32	33	0	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
起債	0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,464,164	2,570,936	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
目標	2	住んでみたいと感じるまちづくり					
施策	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進					
事業名	総合型地域スポーツクラブの支援						
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	クラブの活動や実施事業を広報紙や市公式ホームページへ掲載し、活動状況の周知を図るとともに、活動場所・練習施設等の支援を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-3-2						
今年度の取組内容	<p>総合型地域スポーツクラブの会員募集や認知度向上を支援するとともに、幅広い年齢層が活動できるよう事業の拡大と活動拠点の確保を支援する。 また、総合型地域スポーツクラブの自立的運営と質的充実を促進するため、交付金事業を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合型地域スポーツクラブの活動内容の市民への周知 2. 総合型地域スポーツクラブの活動場所の協力支援 3. 総合型地域スポーツクラブへの交付金事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) ランニングクリニック開催事業 (2) ウォーキング教室開催事業 (3) 中学生部活動コンディショニングレクチャー開催事業 (4) 小学生市陸直前合同練習会開催事業 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		381,855	1,875,894	0	0	0
	事業費		0	1,262,000	0	0	0
	人件費		381,855	613,894	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)		76,741	5	24	0	0
	財源内訳(円)						
	国支出金		0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0
起債		0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		381,855	1,875,894	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
施 策	3	スポーツ環境の充実				
事業名	流通経済大学運動部との連携					
担当課	企画課／スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	流通経済大学運動部応援ツアーの開催や総合運動公園における公式戦開催への協力、運動部活動の情報発信等を行うとともに、大学運動部と各種団体が連携したイベント開催等を推進し、市民がスポーツに親しむ機会を提供します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-1					
今年度の取組内容	<p>(1)各運動部の公式試合日程等の情報提供 ・総合運動公園イベントスケジュールへの掲載や試合会場等にポスターを掲示するとともに、市広報紙、市公式ホームページ・SNSや龍ヶ崎市駅デジタルサイネージなどを活用した継続的な試合情報の提供を行い、身近な場所で全国レベルの大学スポーツが観戦できることを積極的に市民に周知する。</p> <p>(2)市の運動施設の優先貸出 ・市内での公式試合数増加に向けて、大学運動部と調整を図り、市の運動施設の貸出を優先的に行う。</p> <p>(3)応援バスツアーの開催 ・全国大会やリーグ戦決勝戦等、市民の関心の高い試合の応援バスツアーを開催する。また、世界大会出場時など現地へ応援に行けない場合の支援として、パブリックビューイングの開催など状況に応じた支援を検討していく。</p> <p>(4)市民と大学運動部との新たな連携方法の検討 ・大学運動部独自に運用管理しているSNS等の周知や紹介サイト構築等検討協議</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	1,003,951	1,011,653	0	0	0
	事業費	11,128	14,076	0	0	0
	人件費	992,823	997,577	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	13	13	0	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	15,500	0	0	0
一般財源	1,003,951	996,153	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止				

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
目 標	12	スポーツ健幸日本一【重点目標】					
施 策	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
事業名	マラソン大会開催						
担当課	秘書課／スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	本市における地域の特色を活かし、市内外の人々から親しまれ、愛されるような魅力のあるマラソン大会を開催します。 また、マラソン大会開催によって得られたノウハウを2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に関連した本市の取組に活かしていきます。						
関連計画等での位置付け							
今年度の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. マラソン大会実行委員会及び運営委員会を設置、大会準備をスタートし、随時協議を進めていく。 2. 当大会における運營業務委託を締結し、以下の委託業務について計画的に進めていく。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 制作物関連業務(パンフレット制作,参加案内印刷発送, 参加賞等) (2) エントリー関連業務(インターネット(PC・スマホ)エントリーサービス利用料, 主催者管理ページ更新費等) (3) 参加者関連業務(参加者データ入力) (4) 大会Web関連業務(当大会専用サイト制作費等) (5) 設営関連業務(会場設営・撤去) (6) 大会当日関連(選手の記録処理関係等) (7) その他(警備関連費用) 3. 茨城県警との協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通警備計画の作成 龍ヶ崎警察署交通課と随時協議を進めていき、最終的に報告書を作成の上、茨城県警本部に提出。 (2) 交通量調査の実施 龍ヶ崎警察署交通課と調査ポイント等について協議を行い、実施する。 4. 応援要請 運営委託業者と大会従事動員数の設計について協議し、市職員及びボランティア等に応援要請を行う。 5. 情報発信(広報・PR活動) 当大会専用サイト等を創設するほか、市公式HP、市公式SNS等を活用し、情報発信に努めていく。 ※マラソン大会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を考慮しながら、開催日程案を協議していく。 6. 事前キャンプ及び聖火リレーにおいて、マラソン大会での運営経験を活かしたボランティアの活用を検討する。 						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	0	0	0	0	0	
	事業費	0	0	0	0	0	
	人件費	0	0	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	0	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	0	0	0		
事業 評 価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
目 標	12	スポーツ健幸日本一【重点目標】					
施 策	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
事業名	旧北文間小の跡地を活用した健幸スポーツ拠点の整備						
担当課	財政課／スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	旧北文間小の跡地を活用して、新しい健幸スポーツニーズ等に対応した拠点を整備します。						
関連計画等での位置付け							
今年度の取組内容	<p>1. 旧北文間小学校の解体 解体工事及び駐車場整備の進捗状況を関係各課と共有し着実に進める。</p> <p>2. 活用方策の検討 (1) 体育館改修工事を発注し年度内に完成させる。 (2) 体育館の設置管理条例制定に向けた条例案を作成する。 (3) 第4期校舎における活用方針案の見直しについては、地元の理解を得た上で検討していく。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	0	0	0	0	0	
	事業費	0	0	0	0	0	
	人件費	0	0	0	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R01.10/1常住人口)	76,741	0	0	0	0	
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	0	0	0		
事業 評 価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

【その他】

1 電子図書館への電子書籍購入について

電子図書館とは図書館に足を運ぶことなく、インターネットで電子書籍の貸出・返却が可能な仕組みのことで、コロナ禍において、外出を控える人たちのニーズに合い、中央図書館の提供する電子図書館の利用は増加傾向にあります。概要は下表のとおり。

こうした状況下、新たに約15,000冊程度の電子書籍の追加購入を予定しています。内容は、子どもと子育て世代に向けた書籍を中心とする予定ですが、本市ならではの蔵書構成にしたいと考えています。

＜龍ヶ崎市立中央図書館が提供する電子図書館の概要＞

開始年度	平成27年度	
電子書籍の蔵書数	約15,500冊(大人向け約14,500冊, 子供向け約1,000冊)	
	ジャンル	文学・ミステリーなど 約12,500冊
		ビジネス・料理・健康など 約3,000冊
利用方法	利用者カードを作成し、事前に中央図書館でIDとパスワードを発行してもらう。	
利用媒体	インターネットに接続しているパソコン・タブレット端末・スマートフォン等。	
機能	24時間利用可。14日間を過ぎると自動返却。 タブレットやスマートフォン等の画面上でページの拡大が可能。	
令和元年度の貸出冊数	2,227冊	
メリット	施設利用を制限せざるを得ない状況になった場合にも、図書館機能・読書環境が維持できる。 外出不要で読書が楽しめるので、新型コロナウイルス感染症対策に有効。	